

(別添)

危険物積載船舶の停泊場所指定及び危険物荷役許可の基準

	平 17. 10. 11	保交安第 49 号
一部改正	平 18. 12. 19	〃 47 号
〃	平 20. 12. 18	〃 50 号
〃	平 22. 12. 15	〃 74 号
〃	平 24. 12. 25	〃 105 号
〃	平 26. 4. 2	〃 119 号
〃	平 26. 12. 5	〃 86 号
〃	平 28. 12. 21	保交航第 76 号
〃	平 30. 12. 25	〃 86 号
〃	令 2. 12. 22	〃 59 号
〃	令 4. 12. 28	〃 64 号
〃	令 6. 12. 27	〃 44 号
〃	令 7. 12. 5	〃 71 号

第 1 危険物積載船舶の停泊場所指定

(1) 港長は、危険物積載船舶の停泊場所を、岸壁（突堤、栈橋、物揚場等を含む。以下同じ。）若しくは係船浮標又はびよう地に指定するときは、危険物の積載量について、一船ごとに次に定める停泊許容量を基準とする。なお、危険物港区（港則法施行規則（昭和 23 年運輸省令第 29 号）別表第一に掲げる危険物積載船舶が停泊すべき港区をいう。以下同じ。）以外の場所における停泊場所の指定は、やむを得ない場合に限られる。

イ 1 種類の危険物を開放された場所（開放された船倉及び区画を含む。以下同じ。）に積載している船舶が岸壁に停泊するときは、別紙 1 に定める荷役許容量の 2 倍の数量とする。

ロ 1 種類の危険物を開放されていない船倉又は区画に積載している船舶が岸壁に停泊するときは、別紙 1 に定める荷役許容量の 5 倍の数量とする。

ハ コンテナ専用船が C 2 岸壁に停泊するときは、別紙 1 に定める荷役許容量の 5 倍の数量とする。

ニ 1 種類の危険物を開放された場所に積載している船舶が、危険物港区以外の係船浮標又はびよう地に停泊するときは、別紙 1 に定める荷役許容量の 2 倍の数量とする。

ホ 1 種類の危険物を開放されていない船倉又は区画に積載している船舶が危険物港区以外の係船浮標又はびよう地に停泊するときは、無制限とする。

ヘ 船倉又は区画の開放・非開放を問わず、危険物積載船舶が危険物港区内の係船浮標又はびよう地に停泊するときは、無制限とする。

ト 2種類以上の危険物を積載している場合又は開放された場所と開放されていない場所に積載している場合の停泊許容量は、それぞれの危険物の数量をイからニまでに定めるそれぞれの危険物の停泊許容量で除した商の和が1を超えない数量とする。

チ LNGバンカー船（LNG燃料船の燃料用LNGをタンクに積載したLNGバンカー船をいう。以下同じ。）が一般岸壁（危険物専用岸壁（港長に承認された危険物の専用岸壁をいう。以下同じ。）以外の港内における岸壁をいう。以下同じ。）に停泊するときは、別紙1に定める荷役許容量の5倍の数量とする。

ただし、一般岸壁を定係地とする場合において、事業者等から別紙2に定める安全対策等を記載した停泊承認願が提出され、必要な安全対策が講じられる場合は、当該LNGバンカー船の最大積載量までの数量とする。

- (2) 港長は、危険物積載船舶であって停泊場所において危険物の荷役を予定している船舶から停泊場所指定の申請を受けたときは、危険物の積載量については、別紙1に定める荷役許容量を基準とする。
- (3) 港長は、危険物積載船舶の停泊場所を係船浮標又はびょう地に指定する場合は、危険物の種類、数量に応じ、船だまり、航路筋等船舶のふくそうする場所あるいは陸上の保安物件等から離れた場所に指定する。
- (4) 港長は、係船浮標又は係留施設に危険物積載船舶の停泊場所を指定する場合は、係留施設使用届に基づいて行い、同届が提出されていない場合は、係留施設の管理者と連絡をとってから指定する。
- (5) 港長は、危険物積載船舶の停泊場所指定は、原則として当該船舶の入港又は移動のつど個別的に行うものとする。

第2 危険物荷役許可

1 危険物荷役許可に係る一般的注意事項について

- (1) 港長は、港内の岸壁以外の場所における船舶による運搬を伴う危険物荷役の許可の申請を受けたときは、運搬許可についてもなるべく同時に申請するよう指導するものとする。
- (2) 港長は、危険物荷役を許可する場合は、次に掲げる措置を講じるものとする。

イ 隣接するバースにおいて、同時に危険物を荷役しないように配慮する。

ロ 係留施設の管理者の意向を確認する（C2岸壁を除く。）。

ハ 必要と認める場合は、警察、消防等の関係機関と協議し、又は連絡を密にする。

ニ 許可に当たっては、必要と認める事項を条件として付す。また、関係者の知識経験に応じて、危険物船舶運送及び貯蔵規則に定められた容器、包装、積付方法、荷役方法、積付検査等、関係法令中特に重要な事項について指導あるいは注意喚起を行う。

ホ 自動車渡船のための専用岸壁において危険物が自動車に積載したままで行われる荷役について、あらかじめ事業者から荷役岸壁の名称、位置、構

造、荷役計画（荷役船舶ごとの1回の最大荷役量を明らかにしておくこと。）、荷役安全管理体制、安全対策等を記載した危険物荷役承認願が提出され、必要な安全対策が講じられる場合は、別紙1の荷役許容量の基準を適用しない。

ヘ 一般岸壁においてLNGバンカー船がLNG燃料船へ燃料供給のために行う荷役について、あらかじめ事業者から荷役岸壁の名称、位置、荷役計画（荷役船舶ごとの1回の最大荷役量を明らかにしておくこと。）、荷役安全管理体制、安全対策等を記載した危険物荷役承認願が提出され、必要な安全対策が講じられる場合は、別紙1の荷役許容量の基準を適用しない。

ト 荷役許容量を超える数量の荷役を特別に許可する場合、火薬類の荷役が25キログラム（別紙1の類別欄等級が1.3、1.4、又は1.6の火薬類にあつては1トン、爆薬換算量をいう。）を超えて行われる場合、別紙1の類別欄第1種の放射性物質等（核分裂性物質）及び専用積載する場合の別紙1の類別欄第2種の放射性物質等（以下「核分裂性物質等」という。）の荷役が行われる場合その他特に必要があると認める場合は、あらかじめ荷主、荷役業者及び船舶関係者と事前に協議（協議する際の検討事項については、別紙3参照）し、原則として現場確認を行う。また、必要に応じ港湾管理者、警察、消防等と打ち合わせを行う。

なお、当該火薬類又は核分裂性物質等の荷役が行われる場合は、次の（3）に掲げる安全基準を遵守するよう指導する。

チ 火薬類の荷役については、荷役場所と陸上の運搬経路等に関する都道府県公安委員会の指示（火薬類取締法第19条第2項）との関係について検討する。

リ 港内の係留施設以外の場所における危険物荷役については、港湾施設の状況等を十分に考慮し、危険物の種類、数量に応じ、陸上の保安物件、船だまり、その他船舶のふくそうする場所、航路との位置関係、荷役安全管理体制、荷役時間、安全対策等について検討する。

ヌ 特定港以外の場所において、核分裂性物質の荷役が行われる場合には、当該区域を管轄する海上保安部署の長は、特定港における核分裂性物質等の安全基準を遵守するよう指導する。

（3）安全基準

イ 核分裂性物質等

（イ）原則として夜間荷役を行わないこと。ただし、コンテナ船の荷役であつて、荷役安全管理体制、緊急時の対応体制、荷役設備、照明設備等について所要の安全対策が講じられる場合はこの限りではない。

（ロ）当該危険物の荷役経験の十分な業者が実施すること。

（ハ）荷役危険物に摩擦、衝撃、振動等を与えないこと。

（ニ）クレーン等の機械を使用する場合には、そのつり上げ高さを地上及び船内固定位置より原則として9メートル以内におさえること。ただし、

荷役設備の厳重な点検、ロック装置の確実な作動の確認等補完的安全対策が講じられる場合は、この限りではない。この場合において、つり上げ高さは、安全な荷役が確保できる範囲で、できる限り低くおさえること。

- (ホ) 荷役機械従事者は十分な経験を有すること。
- (ヘ) いかなる場合にも臨界に達することのないよう取り扱うこと。
- (ト) 荷役場所付近では関係者以外の立入りを禁止すること。
- (チ) 荷役場所付近では、火気の手扱いを厳禁すること。
- (リ) 荷役場所には、放射性物質に関する知識を有する者（放射線取扱主任者免状（第一種又は第二種）、核燃料取扱主任者免状等受有者）を立ち会わせること。
- (ヌ) 放射線の漏洩検査及び荷役終了後の現場付近の汚染検査を行うこと。
- (ル) 原則として当該危険物を岸壁上に滞留させないこと。
- (ヲ) 接岸後、速やかに陸揚げし、又は積み込み後、速やかに離岸すること。
- (ワ) 荷役の開始、中止、終了時に現場責任者から港長に通報すること。
- (カ) 重大事故（容器、包装の破損した場合等）が発生した場合には、現場責任者は直ちに港長に通報するとともに必要な措置を講ずること。
- (ヨ) 荷役中、放射性輸送物、オーバーパック又は放射性輸送物を収納したコンテナが落下し、放射線の漏洩が明らかとなった場合、荷役場所付近で火災が発生した場合、その他港長が中止させる必要があると認めた場合には、直ちに荷役を中止すること。

ロ 火薬類

イのうち、(ニ)、(ヘ)、(リ)、(ヌ) 及び (ヨ) を除く各事項のほか次の各事項

- (イ) 荷役場所には、火薬類に関する知識を有する者（火薬類製造保安責任者免状（甲種、乙種又は丙種）、火薬類取扱保安責任者免状（甲種又は乙種）等受有者）を立ち会わせ、安全対策等について監督させること。
 - (ロ) 荷役場所付近で火災が発生した場合、その他港長が中止させる必要があると認めた場合には、直ちに荷役を中止すること。
- ハ 荷役計画の事前協議を要しない放射性物質等の荷役については、核分裂性物質等の安全基準のうち (ハ)、(ニ)、(ヌ)、(カ) 及び (ヨ) の各事項を遵守するよう指導する。
- ニ 荷役計画の事前協議を要しない少量の火薬類の荷役については、火薬類の安全基準のうちイ (ワ) 及びロ (イ) 以外の各事項を遵守するよう指導する。

2 一般岸壁における危険物荷役についての許可の際の基準

港長は、一般岸壁における危険物荷役を許可する場合は、危険物の荷役量について、一船ごとに次に定める荷役許容量を基準とする。

- (1) 1 種類の危険物を一般岸壁において荷役するときは、岸壁区分 A、B、

C 1、C 2に応じて別紙 1 に掲げる数量とする。

ただし、C 2 岸壁において、コンテナ専用船以外の船舶が危険物を荷役する場合は、C 1 岸壁における荷役許容量を基準とする。

- (2) 一般岸壁における危険物の荷役であっても、特定の事業所等が危険物専用岸壁に準じて、適正な荷役安全管理体制のもとに付近の立入り、火気の使用の禁止等十分な安全対策を講じて荷役を行う場合は、別紙 1 に定める荷役許容量の基準によらず許可することができる。
- (3) 2 種類以上の危険物を荷役するときは、それぞれの危険物の数量を別紙 1 に定めるそれぞれの危険物の荷役許容量で除した商の和が 1 を超えない数量とする。

既に危険物を積載している船舶が一部の危険物を荷卸しし、又は他の危険物を積込む場合の荷役許容量は、荷役しない危険物の数量を停泊許容量（荷役する危険物の付近の開放された場所又は同一船倉若しくは区画内に積載してある危険物にあつては荷役許容量に同じ数量とする。）で除した商と荷役する危険物の数量を荷役許容量で除した商の和が 1 を超えない場合のそれぞれの数量とする。

なお、C 2 岸壁において上記の計算を行う場合、火薬類については C 2 岸壁における火薬類の停泊許容量又は荷役許容量の 2 倍の数量を分母として計算するものとする。

3 危険物専用岸壁における危険物荷役についての許可の際の基準

- (1) 港長は、危険物専用岸壁における危険物荷役を許可する場合は、当該専用岸壁において取り扱うことが承認された危険物の種類、数量、当該専用岸壁に係る安全対策等が遵守されているかどうかについて検討する。
- (2) 港長は、臨時に行われる次のような荷役の許可に際しては、相当の安全対策が講じられているかどうか、十分検討の上処理する。

イ 承認された危険物と異なる危険物の荷役

ロ 1 回の荷役量が、承認された量を超える場合

ハ 荷役船舶が、承認された最大荷役船舶を上回る場合

- (3) 港長は、タンカーによる引火性危険物（引火性液体類及び引火性の高圧ガスをいう。）の荷役に際しては、次の制限を行う。

イ 原則として、夜間に開始される荷役は許可をしない。

ただし、バースの照明設備、安全設備、荷役安全管理体制及び災害発生時の防災体制並びにバース付近の環境等を勘案し、港長が安全であると認める場合はこの限りでない。

ロ 他船越え荷役、いわゆる山越し荷役は許可をしない。

- (4) 港長は、核分裂性物質等の荷役が行われる場合は、放射性物質に関する有識者（荷主関係者等）及び関係機関（警察、消防、港湾管理者等）と協議し、立入禁止措置、容器、包装が破損した場合の対策等を含む荷役計画について事前に協議する。

- (5) 港長は、荷役計画の事前協議が必要な危険物の荷役が行われる場合は、港長業務担当者又は巡視艇乗組員を荷役に立ち会わせる。
- (6) 港長は、火薬類の大量荷役、タンカーによる引火性危険物の大量荷役等が行われる場合は、必要に応じ一般船舶が荷役船舶の付近に立ち入らないよう港則法第39条に定める船舶交通の制限を行う。

4 包括許可について

- (1) 危険物専用岸壁における危険物荷役の許可は、荷役のつど個別的に行うものとする。

ただし、承認願に記載された危険物又はこれと類似する危険物については、次に掲げる要件を満たす場合には、一船ごとに1月以内の期間を限り包括的に行うことができる（火薬類を除く。）。

- イ 危険物の種類、数量その他を勘案し、危険が少ないと認められること。
 - ロ 荷役の回数が非常に多いこと（少なくとも2～3日に1回程度）。
 - ハ 荷役する危険物の性状が毎回同一又は類似のものであり、数量もほぼ一定であること。
 - ニ 危険物の専用船であること。一般船舶であるときは荷役量が少ないこと。
 - ホ 船内の火気管理が十分であること。
 - ヘ 荷役場所は危険物専用岸壁であること。その他の場所であるときは、荷役量が少なく場所が一定であり、危険物専用岸壁に準じて安全対策措置が講じられていること。
 - ト 荷役船舶において適正な荷役安全管理が行われていること。
- (2) 危険物専用岸壁における危険物荷役の包括許可には、許可期間中の実績表を遅滞なく提出することを条件として付するものとする。
- (3) 自動車渡船についても1ヶ月以内に期間を限り包括的に許可をすることができる。この場合においても、許可期間中の実績表を遅滞なく提出することを条件として付するものとする。

5 岸壁区分について

(1) 岸壁区分

港長は、あらかじめ次の表に掲げる標準を参考とし、一般岸壁をバース単位にA、B、C1、C2又はDの5グループに区分する。

岸壁区分	標準
A	旅客船に係留するバース及びその付近のバース 観光客の雑踏するバース 船舶が極めてふくそうしている場所の付近のバース 市街地に極めて近接しているバース (距離の標準としては100m程度以下)
B	A・C1・C2・D以外のバース (市街地からの距離の標準としては300m程度)

C 1	港湾法上の保安港区に指定されたバース 市街地から相当離れている閑散な場所にあるバース (距離の標準としては500m程度以上)
C 2	コンテナ専用岸壁
D	港長が適当と認める専用岸壁

(注) AとB又はBとC 1 の中間に該当するバースについては、別紙1の荷役許容量と当該港の特殊事情とを勘案して、いずれかに区分する。

(2) コンテナ専用岸壁 (C 2 岸壁) の基準

岸壁区分をC 2 として区分すべきコンテナ専用岸壁については、別紙4を基準とする。

(3) 危険物専用岸壁 (D 岸壁) の基準

岸壁区分Dの基準については、別紙5第1項とする。

6 危険物専用岸壁の承認願の申請について

(1) 港長は、危険物専用岸壁としての取り扱いを受けようとする事業所等(所有者等当該岸壁を管理する者) から別紙5第2項に定める承認願が提出された場合は、必要な措置について指導し、次に掲げる事項を付記して危険物専用岸壁として取り扱う旨を公文書により回答する。

イ 荷役関係者及び船舶乗組員に対し、承認願に記載の安全対策(又は安全規則、手引書等)を守らせること。

ロ 承認願記載事項を変更する場合は、変更承認願または変更届を提出すること。

ハ その他港長が必要と認める事項。

(2) 港長は、承認願記載事項に変更のある場合は、変更承認願を提出させ、安全性について検討の上改めて承認する。ただし、次の事項にかかわる変更については、変更届を提出させることをもって足りるものとする。

イ 荷役岸壁の名称

ロ 月間輸送計画(量的に減少する場合に限る。)

ハ 1回の最大荷役量(同上)

ニ 最大荷役船舶の要目(同上)

ホ 陸上の輸送計画

ヘ 設備(安全上強化される場合に限る。)

ト 安全管理に関する責任者の職名、氏名及び受有資格

チ 本社等の安全担当部門の組織、責任者及び職務内容

リ その他港長が軽微な変更と認める事項

(3) 既設の岸壁その他当該港の特殊事情により、危険物専用岸壁の基準に適合させ得ない事項がある場合は、通常荷役される危険物の種類、数量等を勘案し、必要に応じ、他の措置を強化して、これを補う等の実情に即した指導を行う。

(別紙 1)

(一) 危険物接岸荷役許容量

種類	類別		荷役許容量				備考
			A	B	C 1	C 2	
爆発物	火薬類	等級 1. 1, 1. 2, 1. 5	0	5	20	20	特別の保安体制をとること
		等級 1. 3, 1. 4, 1. 6	0. 2	5	20	20	
	酸化性物質	有機過酸化物	0. 5	10	50	200	
その他の危険物	高压ガス	引火性高压ガス	1	20	100	400	
		非引火性非毒性高压ガス	5	100	500	2000	
		毒性高压ガス	1	20	100	400	
	引火性液体類	容器等級Ⅰ	2	50	250	1000	
		容器等級Ⅱ	5	100	500	2000	
		容器等級Ⅲ	10	250	1000	4000	
	可燃性物質類	可燃性物質	10	250	1000	4000	
		自然発火性物質	5	100	500	2000	
		水反応可燃性物質	5	100	500	2000	
	酸化性物質類	酸化性物質	5	100	500	2000	
		有機過酸化物 爆発物を除く	1	20	100	400	
	毒物類	毒物	10	250	1000	4000	
	放射性物質等	第 1 種	0	0	—	—	特別の保安体制をとること
		第 2 種	0	—	—	—	
		第 3 種	0	—	—	—	
	腐食性物質		10	250	1000	4000	
	有害性物質		10	250	1000	4000	
	その他		—	—	—	—	(注) 3 参照

(注) 1 単位は、正味重量（火薬類については、爆薬に換算した薬量）のトン数（圧縮ガスにあっては、容量（温度摂氏零度、ゲージ圧力零度キログラム毎平方センチメートルの状態に換算した容積をいう。）100立方メートルを1トンとみなす。）である。

2 爆薬1トンに換算される火薬、弾薬及び火工品の数量は、下記のとおりである。

火薬類		爆薬1トンに換算される数量
火薬		2トン
火工品 (弾薬を含む)	実包又は空包	2,000,000個
	信管又は火管	50,000個
	銃用雷管	10,000,000個
	工業雷管又は電気雷管	1,000,000個
	信号雷管	250,000個
	導爆線	50キロメートル
	コンクリート破砕器	100,000個
	導火管付き雷管	250,000個
	制御発破用コード	10キロメートル
	その他	その原料をなす火薬2トン又は爆薬1トン

3 その他（化学廃液）については、含有する成分が同じ類別である場合は、その数量は腐食性物質、毒物類、引火性液体類、可燃性物質類及び酸化物質類のいずれかの類別に当てはめる。

(二) 港則法施行規則の危険物の種類を定める告示(昭和54年運輸省告示第547号)による危険物一覧表

種類	類別	危険物コード	品名
爆発物	火薬類	等級1.1 1.2 1.5	危険物船舶運送及び貯蔵規則(以下「危規則」という。)第2条第1号イに掲げるもの
		等級1.3 1.4 1.6	
	酸性物質類	有機過酸化物	
その他の危険物	高圧ガス	引火性高圧ガス	UN3101 有機過酸化物B(液体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
			UN3102 有機過酸化物B(固体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
			UN3111 有機過酸化物B(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
			UN3112 有機過酸化物B(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
			MS7299 その他の溶解ガス(引火性のもの)
			UN1001 アセチレン(溶解)
			UN1010 ブタジエン(安定剤入りのものに限り。)又はブタジエンと炭化水素の混合物(安定剤入りのものであって、ブタジエンの濃度が20%を超えるものに限り。)
			UN1011 ブタン
			UN1012 ブチレン[1-ブチレン][シス-2-ブチレン][トランス-2-ブチレン]
			UN1027 シクロプロパン
			UN1030 1,1-ジフルオロエタン[フッ化エチレン][フッ化エチリデン][ニフッ化エチリデン][冷媒用ガスR152a]
			UN1032 ジメチルアミン(無水物)
			UN1033 ジメチルエーテル[メチルエーテル]
			UN1035 エタン
			UN1036 エチルアミン(無水物又は濃度が70質量%を超える水溶液に限り。)[アミノエタン][モノエチルアミン]
			UN1037 塩化エチル[クロロエタン]
			UN1038 エチレン(深冷液化されているもの)
			UN1039 エチルメチルエーテル[エトキシエタン]
			UN1041 酸化エチレンと炭酸ガスの混合物(酸化エチレンの含有率が9質量%を超え87質量%以下のものに限り。)
			UN1049 水素(圧縮されているもの)
			UN1055 イソブチレン[イソブタン]
			UN1057 喫煙用ガスライター又は詰め替え用容器(液化石油ガス(詰め替え用容器にあっては、65g以下の液化石油ガス)を充てんしているもの)
			UN1060 メチルアセチレンとプロパジエンの混合物(安定剤入りのもの)
			UN1061 メチルアミン(無水物)[アミノメタン][モノメチルアミン]
			UN1063 塩化メチル[クロロメタン][冷媒用ガスR40]
			UN1075 その他の液化石油ガス
			UN1077 プロピレン[プロペン]
			UN1081 四フッ化エチレン(安定剤入りのもの)
			UN1083 トリメチルアミン(無水物)
			UN1085 臭化ビニル(安定剤入りのもの)
			UN1086 塩化ビニル(安定剤入りのもの)
			UN1087 メチルビニルエーテル(安定剤入りのもの)
			UN1860 フッ化ビニル(安定剤入りのもの)
			UN1912 塩化メチルと塩化メチレンの混合物(引火性のもの)
			UN1950 エアソール(容積が1Lを超え、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN1954 その他の圧縮ガス(引火性のもの)
			UN1957 重水素(圧縮されているもの)[ジウテリウム]
			UN1959 1,1-ジフルオロエチレン[フッ化ビニリデン][冷媒用ガスR1132a]
			UN1961 エタン(深冷液化されているもの)
			UN1962 エチレン
			UN1964 炭化水素ガス混合物(圧縮されているもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1965 炭化水素ガス混合物(液化されているもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1966 水素(深冷液化されているもの)
			UN1969 イソブタン
			UN1971 メタン又は天然ガス(圧縮されているもの)(高濃度のメタンを含有するもの)
			UN1972 メタン又は天然ガス(深冷液化されているもの)(高濃度のメタンを含有するもの)
			UN1978 プロパン
			UN2034 水素とメタンの混合物
			UN2035 1,1,1-トリフルオロエタン[冷媒用ガスR143a]
			UN2037 小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限り。ただし、備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。)
			UN2044 2,2-ジメチルプロパン[ネオペンタン]
			UN2200 プロパジエン(安定剤入りのもの)
			UN2203 シラン[ケイ化水素又は四水素化ケイ素]
			UN2419 プロモトリフルオロエチレン
			UN2452 エチルアセチレン(安定剤入りのもの)[1-ブチン]
			UN2453 フルオロエタン[フッ化エチル][冷媒用ガスR161]
			UN2454 フッ化メチル[フルオロメタン][冷媒用ガスR41]
			UN2517 1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン[ジフルオロモノクロロエタン][冷媒用ガスR142b]
			UN2601 シクロブタン[テトラメチレン]
			UN3138 エチレン、アセチレン及びプロピレンの混合物(深冷液化されているものに限り。)(エチレンの含有率が71.5質量%以上であって、アセチレンが22.5質量%以下、プロピレンが6質量%以下のものに限り。)
			UN3150 小型装置(炭化水素ガスで作動するもの)又は小型装置用炭化水素充てん物
			UN3153 トリフルオロメチルトリフルオロビニルエーテル[パーフルオロメチルビニルエーテル][トリフルオロメトキシトリフルオロエチレン]
			UN3154 ペンタフルオロエチルトリフルオロビニルエーテル[パーフルオロエチルビニルエーテル][ペンタフルオロエトキシトリフルオロエチレン]
			UN3161 その他の液化ガス(引火性のもの)
			UN3167 ガス昇本(引火性)(他に品名が明示されているもの及び加圧又は深冷液化されているものを除く。)
			UN3252 ジフルオロメタン[冷媒用ガスR32]
			UN3312 その他の液化ガス(引火性のもの)(深冷液化されているもの)
			UN3354 殺虫ガス類(引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3374 アセチレン(溶媒を含まないもの)
			UN3468 水素吸蔵合金又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(水素が貯蔵されているもの)
			UN3478 燃料電池カートリッジ又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(引火性の液化されたガスが充てんされているものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN3479 燃料電池カートリッジ又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(水素化金属を含むものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN3501 その他の加圧された化学薬品(引火性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN3504 その他の加圧された化学薬品(引火性かつ毒性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN3505 その他の加圧された化学薬品(引火性かつ腐食性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限り。)
			UN3510 その他の吸着ガス(引火性のもの)
			UN3529 内燃機関、燃料電池エンジン、内燃機関を有する機械又は燃料電池を有する機械(引火性高圧ガスを燃料とするもの)
			UN3537 その他の物品(引火性高圧ガスを含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3553 ジシラン

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	高圧ガス	非引火性非毒性 高圧ガス	MS7399 その他の溶解ガス（非引火性かつ非毒性のもの）
			UN1002 空気（圧縮されているもの）（酸素の濃度が23.5%以下の空気に限る。）
			UN1003 空気（深冷液化されているもの）
			UN1006 アルゴン（圧縮されているもの）
			UN1009 フロトリフルオロメタン〔冷媒用ガスR13B1〕
			UN1013 炭酸ガス（備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。）〔二酸化炭素〕〔無水炭酸〕
			UN1018 クロロジフルオロメタン〔モノクロロジフルオロメタン〕〔冷媒用ガスR22〕
			UN1020 クロロペンタフルオロエタン〔モノクロロペンタフルオロエタン〕〔冷媒用ガスR115〕
			UN1021 1-クロロ-1,2,2,2-テトラフルオロエタン〔モノクロロテトラフルオロエタン〕〔冷媒用ガスR124〕
			UN1022 クロロトリフルオロメタン〔モノクロロトリフルオロメタン〕〔冷媒用ガスR13〕
			UN1028 ジクロロジフルオロメタン〔冷媒用ガスR12〕
			UN1029 ジクロロフルオロメタン〔ジクロロモノフルオロメタン〕〔冷媒用ガスR21〕
			UN1043 液体肥料（硝酸アンモニウム、硝酸カルシウム、尿素及びこれらの混合物の水溶液）（遊離アンモニアの含有率が35質量%を超えるものに限る。）
			UN1046 ヘリウム（圧縮されているもの）
			UN1056 クリプトン（圧縮されているもの）
			UN1058 非引火性液化ガス（窒素、炭酸ガス又は空気と共に充てんされているもの）
			UN1065 ネオン（圧縮されているもの）
			UN1066 窒素（圧縮されているもの）
			UN1070 亜酸化窒素〔一酸化二窒素〕
			UN1072 酸素（圧縮されているもの）
			UN1073 酸素（深冷液化されているもの）
			UN1078 冷凍用ガス類（非引火性かつ非毒性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
			UN1080 六フッ化硫黄
			UN1858 ヘキサフルオロプロピレン〔冷媒用ガスR1216〕
			UN1913 ネオン（深冷液化されているもの）
			UN1950 エアゾール（容積が1Lを超え、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。）
			UN1951 アルゴン（深冷液化されているもの）
			UN1952 酸化エチレンと炭酸ガスの混合物（酸化エチレンの含有率が9質量%以下のものに限る。）
			UN1956 その他の圧縮ガス（他の危険性を有しないもの）
			UN1958 1,2-ジクロロ-1,1,2,2-テトラフルオロエタン〔1,1,2,2-テトラフルオロ-1,2-ジクロロエタン〕〔冷媒用ガスR114〕
			UN1963 ヘリウム（深冷液化されているもの）
			UN1968 殺虫ガス類（非引火性かつ非毒性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
			UN1970 クリプトン（深冷液化されているもの）
			UN1973 クロロジフルオロメタンとクロロペンタフルオロエタンの混合物（クロロジフルオロメタンを約49質量%含有し、一定の沸点を有するもの）〔モノクロロジフルオロメタンとモノクロロペンタフルオロエタンの混合物、冷 クロロジフルオロプロモメタン〕〔モノクロロジフルオロモノプロモメタン〕〔冷媒用ガスR12B1〕
			UN1974 クロロジフルオロプロモメタン〔モノクロロジフルオロモノプロモメタン〕〔冷媒用ガスR12B1〕
			UN1976 オクタフルオロシクロブタン〔冷媒用ガスRC318〕
			UN1977 窒素（深冷液化されているもの）
			UN1982 テトラフルオロメタン〔冷媒用ガスR14〕
			UN1983 1-クロロ-2,2,2-トリフルオロエタン〔冷媒用ガスR133a〕
			UN1984 トリフルオロメタン〔冷媒用ガスR23〕
			UN2036 キセノン
			UN2037 小型ガスボンベ（ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。ただし、備考 の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。）
			UN2073 液体アンモニア（15℃で比重が0.880未満でアンモニアの含有率が35質量%を超え50質量%以下の水溶 液）
			UN2187 炭酸ガス（深冷液化されているもの）〔二酸化炭素又は無水炭酸〕
			UN2193 ヘキサフルオロエタン〔冷媒用ガスR116〕
			UN2201 亜酸化窒素（深冷液化されているもの）〔一酸化二窒素〕
			UN2422 オクタフルオロ-2-ブテン〔パーフルオロ-2-ブテン又は冷媒用ガスR1318〕
			UN2424 オクタフルオロプロパン〔パーフルオロプロパン又は冷媒用ガスR218〕
			UN2451 三フッ化窒素
			UN2591 キセノン（深冷液化されているもの）
			UN2599 クロロトリフルオロメタンとトリフルオロメタンの共沸混合物（クロロトリフルオロメタンの含有率が約60質 量%のものに限る。）〔冷媒用ガスR503〕
			UN2602 ジクロロジフルオロメタンとジフルオロエタンの共沸混合物（ジクロロジフルオロメタンの含有率が約74質 量%のものに限る。）〔冷媒用ガスR500〕
			UN3070 酸化エチレンとジクロロジフルオロメタンの混合物（酸化エチレンの含有率が12.5質量%以下のものに限 る。）
			UN3136 トリフルオロメタン（深冷液化されているもの）
			UN3156 その他の圧縮ガス（酸化性のもの）
			UN3157 その他の液化ガス（酸化性のもの）
			UN3158 その他の液化ガス（他の危険性を有しないもの）（深冷液化されているもの）
			UN3159 1,1,1,2-テトラフルオロエタン〔冷媒用ガスR134a〕
			UN3163 その他の液化ガス（他の危険性を有しないもの）
			UN3164 物品（加圧されたもの）（空気圧又は水圧により加圧された非引火性かつ非毒性のガスを含有するものに 限る。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。）
			UN3220 ペンタフルオロエタン〔冷媒用ガスR125〕
			UN3296 ヘプタフルオロプロパン〔冷媒用ガスR227〕
			UN3297 酸化エチレンとクロロテトラフルオロエタンの混合物（酸化エチレンの含有率が8.8質量%以下のものに限 る。）
			UN3298 酸化エチレンとペンタフルオロエタンの混合物（酸化エチレンの含有率が7.9質量%以下のものに限る。）
			UN3299 酸化エチレンとテトラフルオロエタンの混合物（酸化エチレンの含有率が5.6質量%以下のものに限る。）
			UN3311 その他の液化ガス（酸化性のもの）（深冷液化されているもの）
			UN3337 冷媒用ガスR404A〔ペンタフルオロエタン（約44%）、1,1,1-トリフルオロエタン（約52%）及び1,1,1,2-テトラ フルオロエタンの共沸混合物〕
			UN3338 冷媒用ガスR407A〔ジフルオロメタン（約20%）、ペンタフルオロエタン（約40%）及び1,1,1,2-テトラフルオ ロエタンの共沸混合物〕
			UN3339 冷媒用ガスR407B〔ジフルオロメタン（約10%）、ペンタフルオロエタン（約70%）及び1,1,1,2-テトラフルオ ロエタンの共沸混合物〕
			UN3340 冷媒用ガスR407C〔ジフルオロメタン（約23%）、ペンタフルオロエタン（約25%）及び1,1,1,2-テトラフルオ ロエタンの共沸混合物〕
			UN3500 その他の加圧された化学薬品 （他の危険性を有しないもの） （備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。）
			UN3502 その他の加圧された化学薬品 （毒性のもの） （備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。）
			UN3503 その他の加圧された化学薬品 （腐食性のもの） （備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。）
			UN3511 その他の吸着ガス（他の危険性を有しないもの）
			UN3513 その他の吸着ガス（酸化性のもの）
			UN3538 その他の物品（非引火性非毒性の高圧ガスを含むもの）（他に品名が明示されているものを除く。）

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	高圧ガス	毒性高圧ガス	MS7499 その他の溶解ガス(非引火性かつ毒性のもの) UN1005 液体アンモニア UN1008 ミフ化ホウ素 UN1016 一酸化炭素(圧縮されているもの) UN1017 塩素 UN1023 石炭ガス(圧縮されているもの) UN1026 ジシアン[シアン][シアンゲン][ジシアノゲン] UN1040 酸化エチレン又は酸化エチレンと窒素の混合物(50℃における全圧が1MPa以下のもの)[オキシラン若しくは1,2-エポキシエタン又はオキシランと窒素の混合物若しくは1,2-エポキシエタンと窒素の混合物] UN1045 フッ素(圧縮されているもの) UN1048 臭化水素(無水物) UN1050 塩化水素(無水物) UN1053 硫化水素 UN1062 臭化メチル(クロロビクリン2%を超えないもの)[プロモメタン] UN1064 メチルメルカプタン[メタンチオール] UN1067 二酸化窒素[四酸化二窒素又は過酸化窒素] UN1069 塩化ニトロシル UN1071 オイルガス(圧縮されているもの) UN1076 ホスゲン[塩化カルボニル] UN1079 二酸化硫黄[亜硫酸ガス又は無水亜硫酸] UN1082 クロロトリフルオロエチレン(安定剤入りのもの)[トリフルオロモノクロロエチレン][冷媒用ガスR1113] UN1581 クロロビクリンと臭化メチルの混合物(クロロビクリンの濃度が2質量%を超えるもの) UN1582 クロロビクリンと塩化メチルの混合物 UN1589 塩化シアン(安定剤入りのもの)[クロロシアン][シアン化塩素] UN1612 四リン酸ヘキサエチルと圧縮ガスの混合物 UN1660 一酸化窒素(圧縮されているもの) UN1741 三塩化ホウ素 UN1749 ミフ化塩素 UN1859 テトラフルオロモノシラン[四フッ化ケイ素] UN1911 ジボラン UN1953 その他の圧縮ガス(毒性かつ引火性のもの) UN1955 その他の圧縮ガス(毒性のもの) UN1967 殺虫ガス類(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。) UN1975 一酸化窒素と二酸化窒素の混合物[一酸化窒素と四酸化二窒素の混合物] UN2037 小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充電ができないものに限る。) UN2188 アルシン[水素化ヒ素又はヒ化水素] UN2189 ジクロロシラン UN2190 ニフッ化酸素(圧縮されているもの)[フッ化酸素又は一酸化フッ素] UN2191 フッ化スルフルル[オキシフッ化硫黄] UN2192 ゲルマン[水素化ゲルマニウム] UN2194 六フッ化セレン UN2195 六フッ化テルル UN2196 六フッ化タングステン UN2197 ヨウ化水素(無水物) UN2198 五フッ化リン UN2199 ホスフィン[リン化水素] UN2202 水素化セレン(無水物)[セレン化水素又は無水セレン酸] UN2204 硫化カルボニル[オキシ硫化炭素] UN2417 フッ化カルボニル[オキシフッ化炭素又はフッ化フルオロホルミル] UN2418 四フッ化硫黄 UN2420 ヘキサフルオロアセトン[六フッ化-2-プロパノン] UN2421 三酸化二窒素[ナイトロジェンセスキオキサイド] UN2534 メチルクロロシラン UN2548 五フッ化塩素 UN2676 スチビン[水素化アンチモン、三水素化アンチモン又はアンチモン化水素] UN2901 塩化臭素[臭化塩素] UN3057 トリフルオロアセチルクロライド[パーフルオロアセチルクロライド] UN3083 パークロリルフルオライド UN3160 その他の液化ガス(毒性かつ引火性のもの) UN3162 その他の液化ガス(毒性のもの) UN3168 ガス見本(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているもの及び加圧又は深冷液化されているものを除く。) UN3169 ガス見本(毒性)(他に品名が明示されているもの及び加圧又は深冷液化されているものを除く。) UN3300 酸化エチレンと炭酸ガスの混合物(酸化エチレンの含有率が87質量%を超えるものに限る。) UN3303 その他の圧縮ガス(毒性かつ酸化性のもの) UN3304 その他の圧縮ガス(毒性かつ腐食性のもの) UN3305 その他の圧縮ガス(毒性、引火性かつ腐食性のもの) UN3306 その他の圧縮ガス(毒性、酸化性かつ腐食性のもの) UN3307 その他の液化ガス(毒性かつ酸化性のもの) UN3308 その他の液化ガス(毒性かつ腐食性のもの) UN3309 その他の液化ガス(毒性、引火性かつ腐食性のもの) UN3310 その他の液化ガス(毒性、酸化性かつ腐食性のもの) UN3318 アンモニア水溶液(15℃で比重が0.880未満でアンモニアの含有率が50質量%を超える水溶液) UN3355 殺虫ガス類(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。) UN3512 その他の吸着ガス(毒性のもの) UN3514 その他の吸着ガス(毒性かつ引火性のもの) UN3515 その他の吸着ガス(毒性かつ酸化性のもの) UN3516 その他の吸着ガス(毒性かつ腐食性のもの) UN3517 その他の吸着ガス(毒性、引火性かつ腐食性のもの) UN3518 その他の吸着ガス(毒性、酸化性かつ腐食性のもの) UN3519 ミフ化ホウ素(吸着されたもの) UN3520 塩素(吸着されたもの) UN3521 テトラフルオロモノシラン(吸着されたもの)[四フッ化ケイ素] UN3522 アルシン(吸着されたもの)[水素化ヒ素又はヒ化水素] UN3523 ゲルマン(吸着されたもの)[水素化ゲルマニウム] UN3524 五フッ化リン(吸着されたもの) UN3525 ホスフィン(吸着されたもの)[リン化水素] UN3526 セレン化水素(吸着されたもの)[水素化セレンウム] UN3539 その他の物品(毒性高圧ガスを含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
	引火性液体類	容器等級Ⅰ	危険規則第2条第1号ハに掲げるもの MS7509 イソプロピルアミン水溶液(濃度が70質量%以下のものに限る。) MS8005 海底及びその下における鉱物資源の探査及び採掘に伴い発生する廃水S(その廃水の排出による海洋の汚染に起因して人の健康に係る被害を生ずるおそれがあるものに限る。) MS8006 オレフィン混合物(炭素数が5から7までのものの混合物に限る。)(アルファオレフィンであって、炭素数が6から7までのもののみから成る混合物を除く。) MS8007 オレフィン混合物(炭素数が5から15までのものの混合物に限る。)(炭素数が5から7までのもののみから成るもの及びアルファオレフィンであって、炭素数が6から15までのもののみから成る混合物を除く。) MS8008 アルファオレフィン混合物(炭素数が6から18までのものの混合物に限る。) MS8009 その他の液体化学製品(この表の危険性の欄が「P」となる物質のみの混合物並びに当該混合物及び海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令(昭和四十六年政令第百二一號)別表第一の二に掲げる物質との混合物(以下これらを「P混合物」という。)であって、引火点が60℃以下のものに限る。)

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	引火性液体類	容器等級Ⅱ	危険規則第2条第1号ハに掲げるもの MS7514 ハラアルデヒド及びアンキニアの反応生成物 MS8107 ジクロロプロパン及びジクロロプロベンの混合物 MS8111 1,1-ジクロロプロパン MS8003 1,3-ペンタジエン MS8113 メタクリル樹脂(1,2-ジクロロエタン溶液) MS8114 アルキルフェニルアミン(アルキル基の炭素数が8及び9のもの並びにその混合物に限る。) MS8115 ターシャリーベンチルメチルエーテル MS8116 エチルターシャリーブチルエーテル MS8117 N-エチルメチルアリルアミン MS8118 メチルブチノール(2-メチル-2-ヒドロキシ-3-ブチンを除く。) MS8119 1, 3-ペンタジエン(濃度が50質量%を超えるものに限る。)、シクロペンテン及びそれらの異性体の混合 MS8120 ナトリウムメキシド(濃度が21質量%以上30質量%以下のメチルアルコール溶液に限る。) MS8121 ターシャリーベンチルエチルエーテル MS8123 エチルアルコール(植物由来のものに限る。) MS8124 オレフィン混合物(炭素数が7から9までのものの混合物であって、炭素数8のものを主成分とし安定化されたもの。) MS8125 アルキルアルコール及びジクロアルコール(いずれもアルコールの炭素数が4又は5のもの及びその混合物に限る。) MS8126 アセトニトリル(低純度品) MS8127 アルカン(炭素数が6から9までのもの及びその混合物に限る。) MS8128 アクリル酸アルキル及びビニルピリジンの共重合体(トルエン溶液) MS8129 アルキルベンゼン混合物(少なくとも50質量%のトルエンを含むものに限る。) MS8130 航空用アルキレート(炭素数が8のパラフィンであって、沸点が95℃以上120℃以下のものに限る。) MS8131 ノルマルブチルエーテル MS8132 1,4-シオキサン MS8133 エチルアミン水溶液(濃度が72質量%以下のものに限る。) MS8134 エチルシクロヘキサン MS8135 ヘキセン MS8136 メチルアルコール MS8137 オクテン MS8138 海底及びその下における鉱物資源の探査及び採掘に伴い発生する廃水S(その廃水の排出による海洋の汚染に起因して人の健康に係る被害を生ずるおそれがあるものに限る。) MS8139 黄燐(白燐) MS8140 アルキルベンゼン(アルキル基の炭素数が2から4までのもの及びその混合物に限る。) MS8141 熱分解ガソリン(ベンゼンを含むものに限る。) MS8142 キシレン及びエチルベンゼンの混合物(エチルベンゼンの濃度が10質量%以上のものに限る。) MS8143 その他の液体化学薬品(この表の危険性の欄が「P」となる物質のみの混合物並びに当該混合物及び海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令(昭和四十六年政令第百一号)別表第一の二に掲げる物質との混合物(以下これらを「P混合物」という。)であって、引火点が60℃以下のものに限る。) MS8218 2-メチル-2-ヒドロキシ-3-ブテン MS8409 1,3,5-トリオキサン
		容器等級Ⅲ	危険規則第2条第1号ハに掲げるもの MS8206 エチレンノルボルネン MS8209 クロロヒドリン(粗製のものに限る。) MS8211 ニトロエタン及びニトロプロパンの混合物(ニトロプロパンの濃度が60質量%のものに限る。) MS8212 メタクリル酸ブチル、メタクリル酸デシル、メタクリル酸セチル及びメタクリル酸エイコシルの混合物 MS8213 エチレングリコールモノアルキルエーテル MS8216 3,4-ジクロロ-1-ブテン MS8217 ニトロエタン及びニトロプロパンの混合物(ニトロエタンの濃度が80質量%のものに限る。) MS8219 イソアルカン(炭素数が10及び11のもの並びにその混合物に限る。) MS8220 アルキルフェニルアミン(アルキル基の炭素数が8及び9のもの並びにその混合物に限る。) MS8221 ドデカン MS8222 3-メトキシ-1-ブタノール MS8223 メチルブチノール MS8224 メチルブチルケトン MS8225 ミルセン MS8226 アルキル(アルキル基の炭素数が12から14までのものに限る。) MS8227 ポリシロキサン MS8228 プロピレングリコールメチルエーテルアセタート MS8229 プロピレングリコールモノアルキルエーテル MS8231 オクタメチルシクロテトラシロキサン MS8233 ノルマルアルカン(炭素数が9から11までのもの及びその混合物に限る。) MS8236 イソアルカン(炭素数が12以上のもの及びその混合物に限る。) MS8237 アルキルベンゼン(アルキル基の炭素数が3から4までのもの及びその混合物に限る。) MS8238 硫化アンモニウム水溶液(濃度が45質量%以下のものに限る。) MS8239 ノルマルベンチルアルコール MS8240 第一級ベンチルアルコール(ノルマルベンチルアルコール及びイソアミルアルコールを除く。) MS8241 第二級ベンチルアルコール MS8242 ターシャリーベンチルアルコール MS8243 ブチンオリゴマー MS8244 酪酸ブチル MS8245 メタクリル酸ブチル MS8246 メタクロトルエン MS8247 オルトクロトルエン MS8248 パラクロトルエン MS8249 コールターナフサソルベント MS8250 1,3-シクロペンタジエン二量体(溶融状のものに限る。) MS8251 パラシメン MS8252 デセン MS8253 ホスホン酸水素ジメチル MS8254 エチレングリコールモノエチルエーテルアセタート MS8255 3-エトキシプロピオン酸エチル MS8256 2-エチル-3-フロピルアクロレイン MS8257 エチルトルエン MS8258 ヘプタノール ^d MS8259 酢酸ヘキシル(酢酸メチルベンチルを除く。) MS8260 イソアミルアルコール MS8261 イソプロピルシクロヘキサン MS8262 メチルベンチルアルコール MS8263 メチルシクロペンタジエン二量体 MS8264 2-メチルピリジン MS8265 3-メチルピリジン MS8266 4-メチルピリジン MS8267 3-メチルチオプロピオンアルデヒド MS8268 ニトロエタン及び1-ニトロプロパンの混合物(それぞれの濃度が15質量%以上のものに限る。) MS8269 1-又は2-ニトロプロパン MS8270 ノネン

種類	類別		危険物 コード	品 名		
その他の危険物	引火性液体類	容器等級Ⅲ	MS8271	海底及びその下における鉱物資源の探査及び採掘に伴い発生する廃水S(その廃水の排出による海洋の汚染に起因して人の健康に係る被害を生ずるおそれがあるものに限る。)		
			MS8272	プロピオン酸ノルマルペンチル		
			MS8273	ベータピネン		
			MS8274	ホフイストリット(芳香族系成分の濃度が15質量%以上であって、20質量%以下のものに限る。)		
			MS8275	ポリアクリル酸アルキル(アルキル基の炭素数が18から22までのもの及びその混合物に限る。)	及びキシレンの混合物	
			MS8276	芳香族系溶剤及びポリオレフィンアミンの混合物		
			MS8277	蒸留された樹脂油		
			MS8278	その他の液体化学薬品(この表の危険性の欄が「P」となる物質のみの混合物並びに当該混合物及び海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令(昭和四十六年政令第百一十号)別表第一の二に掲げる物質との混合物(以下これらを「P混合物」という。))であって、引火点が60℃以下のものに限る。)		
			MS8279	アルキルベンゼン(アルキル基の炭素数が3から11までのものの混合物に限る。)		並びにアクリレートポリマー及びフェノールホルムアルデヒドポリマーの混合物の混合物(アクリレートポリマー及びフェノールホルムアルデヒドポリマーの混合物の濃度が33質量%以下のものに限る。)
				容器等級一	UN3473	燃料電池カートリッジ又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(引火性を有する液体を含むものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
UN3528	内燃機関、燃料電池エンジン、内燃機関を有する機械又は燃料電池を有する機械(引火性液体類を燃料とするもの)					
UN3540	その他の物品(引火性液体類を含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)					
UN1309	アルミニウム粉末(表面が被覆されているもの)					
UN1310	ピクリン酸アンモニウム(10質量%以上の水で湿性としたもの)					
UN1320	ジニトロフェノール(15質量%以上の水で湿性としたもの)					
UN1321	ジニトロフェノレート類(15質量%以上の水で湿性としたもの)[ジニトロフェネート類]					
UN1322	ジニトロソルシノール(15質量%以上の水で湿性としたもの)					
UN1323	フェロセリウム(鉄の含有率が10質量%以上のもので安定化したものを除く。)					
UN1325	その他の可燃性物質(有機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)					
可燃性物質類	可燃性物質	UN1326	ハフニウム粉末(25質量%以上の水で湿性としたもの)(過剰水が目視されるもの)(機械的製法によるもので、粒度が53ミクロン未満のもの又は化学的製法によるもので、粒度が840ミクロン未満のもの)			
		UN1333	ミッシュメタル(厚板状、インゴット状又は棒状のもの)			
		UN1336	ニトログアニジン(20質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1337	硝酸でん粉(20質量%以上の水で湿性としたもの)[ニトロスターチ]			
		UN1339	七硫化リン(黄リンを含有しないもの)			
		UN1341	三硫化四リン(黄リンを含有しないもの)[セスキ硫化リン]			
		UN1343	三硫化リン(黄リンを含有しないもの)			
		UN1344	ピクリン酸(30質量%以上の水で湿性としたもの)[トリニトロフェノール]			
		UN1345	ゴムくず(粉状又は粒状のもの)(粒度が840ミクロン以下のもので、ゴムの含有率が45質量%を超えるもの)(十分に加硫された硬質のものを除く。)			
		UN1347	ピクリン酸銀(30質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1348	ジニトロオルトクレゾールナトリウム塩(15質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1349	ピクラミン酸ナトリウム(20質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1352	チタン粉末(25質量%以上の水で湿性としたもの)(過剰水が目視されるもの)(機械的製法によるもので、粒度が53ミクロン未満のもの又は化学的製法によるもので、粒度が840ミクロン未満のもの)			
		UN1354	トリニトロベンゼン(30質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1355	トリニトロ安息香酸(30質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1356	トリニトロトルエン(30質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1357	硝酸尿素(20質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1358	ジルコニウム粉末(25質量%以上の水で湿性としたもの)(過剰水が目視されるもの)(機械的製法によるもので、粒度が53ミクロン未満のもの又は化学的製法によるもので、粒度が840ミクロン未満のもの)			
		UN1437	水素化ジルコニウム			
		UN1517	ピクラミン酸ジルコニウム(20質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1571	アジ化バリウム(50質量%以上の水で湿性としたもの)			
		UN1868	デカボラン			
		UN1871	水素化チタン			
		UN2304	ナフタレン(溶融状のもの)			
		UN2448	硫黄(溶融状のもの)			
		UN2555	ニトロセルロース(25質量%以上の水で湿性としたもの)[硝酸セルロース、硝化綿、又はコロジオン綿]			
		UN2556	ニトロセルロース(窒素量が12.6質量%以下であって、アルコールの含有率が25質量%以上のものに限る。)[硝酸セルロース、硝化綿又はコロジオン綿]			
		UN2557	ニトロセルロース(窒素量が12.6質量%以下のもの)(可塑剤及び顔料との混合物を含む。)[硝酸セルロース、硝化綿又はコロジオン綿]			
		UN2852	硫化ジピクリル(10質量%以上の水で湿性としたもの)[硫化ヘキサニトロジフェニル]			
		UN2907	ニ硝酸イソソルビド混合物(ラクトース、マンノース、スターチ又はリン酸水素カルシウムの含有率が60質量%以上のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)			
		UN2925	その他の可燃性物質(有機物)(固体)(腐食性のもの)			
		UN2926	その他の可燃性物質(有機物)(固体)(毒性のもの)			
		UN2989	ホスホン酸水素鉛(備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。)[第二亜リン酸鉛]			
		UN3089	金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)			
		UN3097	その他の可燃性物質(固体)(酸化性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)			
		UN3175	固体(引火性を有する液体を含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)			
		UN3176	その他の可燃性物質(有機物)(溶融状のもの)			
		UN3178	その他の可燃性物質(無機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)			
		UN3179	その他の可燃性物質(無機物)(固体)(毒性のもの)			
		UN3180	その他の可燃性物質(無機物)(固体)(腐食性のもの)			
		UN3181	有機化合物の金属塩類(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)			
		UN3182	水素化金属(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)			
		UN3221	自己反応性物質B(液体)(備考1(2)の表の表に掲げられたもの)			
		UN3222	自己反応性物質B(固体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3223	自己反応性物質C(液体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3224	自己反応性物質C(固体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3225	自己反応性物質D(液体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3226	自己反応性物質D(固体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3227	自己反応性物質E(液体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3228	自己反応性物質E(固体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3229	自己反応性物質F(液体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3230	自己反応性物質F(固体)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3231	自己反応性物質B(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3232	自己反応性物質B(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3233	自己反応性物質C(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3234	自己反応性物質C(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3235	自己反応性物質D(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3236	自己反応性物質D(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3237	自己反応性物質E(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3238	自己反応性物質E(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3239	自己反応性物質F(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3240	自己反応性物質F(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(2)の表に掲げられたもの)			
		UN3242	アンジカーボンアミド(自己反応性物質及び備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。)			
		UN3270	ニトロセルロース製メンブランフィルター(ニトロセルロースの窒素量が12.6質量%を超えないものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)			
		UN3317	2-アミノ4,6-ジニトロフェノール(20質量%以上の水で湿性としたもの)[ピクラミック酸(湿性のもの)]			

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	可燃性物質類	可燃性物質	ニトログリセリン混合物(純性化されたもの)(固体)(他に品名が明示されていないもので、ニトログリセリンの含有率が質量%を超え10質量%以下のものであって、船積地を管轄する地方運輸局長が承認した)
			四硝酸ペンタエリスリット混合物(純性化されたもの)(固体)(他に品名が明示されていないもので、四硝酸ペンタエリスリットの含有率が10質量%を超え20質量%以下のものであって、船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
			UN3364 トリニトロフェノール(10質量%以上の水で湿性としたもの)[ピクリン酸]
			UN3365 トリニトロクロロベンゼン(10質量%以上の水で湿性としたもの)[ピクリルクロライド]
			UN3366 トリニトロトルエン(10質量%以上の水で湿性としたもの)[TNT]
			UN3367 トリニトロベンゼン(10質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3368 トリニトロベンゼン酸(10質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3369 ナトリウムジニトロオルトクレゾラート(10質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3370 硝酸尿素(10質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3376 4-ニトロフェニルヒドラジン(30質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3380 純性化爆発物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3474 1-ヒドロキシベンゾトリアゾール(一水和物)(20質量%以上の水で湿性としたもの)
			UN3527 ポリエステル樹脂キット(基材が固体のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
	自然発火性物質	自然発火性物質	UN1361 炭素(動物又は植物から製造された粉状又は粒状の不活性炭素であって、自己発熱性を有するものに限る。)
			UN1369 バラニトロソジメチルアニリン(50質量%を超える水で湿性としたものを除く。)[パラジメチルニトロソアニリ
			UN1374 魚粉(安定化されていないもの)(脂肪の含有率が12質量%(1kg当たり100 mg以上の抗酸化剤を含むもの)にあっては15質量%)を超えるものに限る。)
			UN1378 金属触媒(湿性のもの)(過剰水が目視されるもの)
			UN1380 ペンタボラン
			UN1381 黄リン又は白リン(乾性のもの、水中保存のもの又は溶液中のもの。)
			UN1382 硫化カリウム(無水物又は結晶水の含有率が30質量%未満のものに限る。)
			UN1383 自然発火性金属又は自然発火性合金(他に品名が明示されているものを除く。)[アルミニウム粉末][バリウム粉末][セシウム粉末][セリウム粉末][鉄粉末(自然発火性を有するもの)][ストロンチウム粉末][亜鉛粉末(自然発火性を有するもの)]
			UN1384 亜ジチオン酸ナトリウム[ナトリウムハイドロサルファイト]
			UN1385 硫化ナトリウム(無水物又は結晶水の含有率が30質量%未満のものに限る。)
			UN1431 ナトリウムメチレート[ナトリウムメトキサイド]
			UN1854 バリウム合金(自然発火性のもの)
			UN1855 カルシウム又はカルシウム合金(自然発火性のもの)
			UN1923 亜ジチオン酸カルシウム[カルシウムハイドロサルファイト]
			UN1929 亜ジチオン酸カリウム[カリウムハイドロサルファイト]
			UN2004 マグネシウムジアミド
			UN2008 ジルコニウム粉末(乾性のもの)
			UN2318 硫化水素ナトリウム(結晶水の含有率が25質量%未満のものに限る。)
			UN2441 三塩化チタン又は三塩化チタン混合物(自然発火性のもの)
			UN2447 黄リン又は白リン(溶融状のもの)
			UN2545 ハフニウム粉末(乾性のもの)
			UN2546 チタン粉末(乾性のもの)
			UN2845 その他の自然発火性物質(有機物)(液体)
			UN2846 その他の自然発火性物質(有機物)(固体)
			UN2870 水素化ホウ素アルミニウム
			UN2870 水素化ホウ素アルミニウム(装置内に収納されているもの)
			UN2881 金属触媒(乾性のもの)
			UN2940 g-ホスファビシクロノナン[シクロオクタジェンホスフィン]
			UN3088 自己発熱性物質(有機物)(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3126 自己発熱性物質(有機物)(固体)(腐食性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限
			UN3127 自己発熱性物質(有機物)(固体)(酸性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限
			UN3128 自己発熱性物質(有機物)(固体)(毒性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限
			UN3183 自己発熱性物質(有機物)(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3184 自己発熱性物質(有機物)(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3185 自己発熱性物質(有機物)(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3186 自己発熱性物質(無機物)(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3187 自己発熱性物質(無機物)(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3188 自己発熱性物質(無機物)(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3189 自己発熱性金属粉末(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3190 自己発熱性物質(無機物)(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3191 自己発熱性物質(無機物)(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3192 自己発熱性物質(無機物)(固体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3194 その他の自然発火性物質(無機物)(液体)
			UN3200 その他の自然発火性物質(無機物)(固体)
			UN3205 アルカリ土類金属アルコレート(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3206 アルカリ金属アルコレート(自己発熱性かつ腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3254 トリブチルホスファン
			UN3255 次亜塩素酸ターシャリーブチル(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3313 有機顔料(自己発熱性のもの)
			UN3341 二酸化チオ尿素[ホルムアミジンスルフォン酸]
			UN3342 キサントゲン酸塩
			UN3391 有機金属化合物(固体)(自然発火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3392 有機金属化合物(液体)(自然発火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3393 有機金属化合物(固体)(自然発火性かつ水反応性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3394 有機金属化合物(液体)(自然発火性かつ水反応性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3497 オキアミ粉
	水反応可燃性物質	水反応可燃性物質	UN3400 有機金属化合物(固体)(自己発熱性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1183 エチルジクロロシラン
			UN1242 メチルジクロロシラン
			UN1295 トリクロロシラン
			UN1340 五硫化リン(黄リンを含有しないもの)
			UN1360 リン化カルシウム
			UN1389 アルカリ金属アマルガム(液体)
			UN1390 アルカリ金属アミド
			UN1391 アルカリ金属懸濁物又はアルカリ土類金属懸濁物
			UN1392 アルカリ土類金属アマルガム(液体)
			UN1393 アルカリ土類金属合金(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1394 アルミニウムカーバイド
			UN1395 アルミニウムフェロシリコン粉末
			UN1396 アルミニウム粉末(自然発火性を有しないものであって、表面を被覆していないもの)
			UN1397 リン化アルミニウム(水反応可燃性物質に該当しないものを除く。)
			UN1400 バリウム(自然発火性を有しないもの)
			UN1401 カルシウム(自然発火性を有しないもの)
			UN1402 カーバイド[カルシウムカーバイド]
			UN1404 水素化カルシウム
			UN1405 ケイ化カルシウム[カルシウムシリコン]
			UN1407 セシウム
			UN1409 水素化金属(他に品名が明示されているものを除く。)

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	可燃性物質類	水反応可燃性物質	UN1410 水素化リチウムアルミニウム
			UN1411 水素化リチウムアルミニウム(エーテル溶液)
			UN1413 水素化ホウ素リチウム
			UN1414 水素化リチウム(溶融固化したものを除く)
			UN1415 リチウム(自然発火性を有しないもの)
			UN1417 リチウムシリコン
			UN1418 マグネシウム粉末又はマグネシウム合金粉末(マグネシウムの含有率が50質量%を超えるものであって、自然発火性を有しないもの)
			UN1419 リン化マグネシウムアルミニウム
			UN1420 カリウム合金(液体)
			UN1421 アルカリ金属合金(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1422 カリウムナトリウム合金(液体)
			UN1423 ルビジウム
			UN1426 水素化ホウ素ナトリウム
			UN1427 水素化ナトリウム
			UN1428 ナトリウム
			UN1432 リン化ナトリウム
			UN1433 リン化スズ
			UN1436 亜鉛粉末(自然発火性を有しないもの)
			UN1714 リン化亜鉛
			UN1870 水素化ホウ素カリウム
			UN1928 メチルマグネシウムプロマイド(エチルエーテルに保存のもの)[グリニア反応液]
			UN2010 水素化マグネシウム
			UN2011 リン化マグネシウム
			UN2012 リン化カリウム
			UN2013 リン化ストロンチウム
			UN2257 カリウム
			UN2463 水素化アルミニウム
			UN2624 ケイ化マグネシウム
			UN2805 水素化リチウム(溶融固化したもの)
			UN2806 窒化リチウム
			UN2813 その他の水反応可燃性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
			UN2830 リチウムフェロシリコン
			UN2835 水素化ナトリウムアルミニウム
			UN2965 三フッ化ホウ素とジメチルエーテルの錯化合物
			UN2988 クロロシラン類(水反応可燃性物質に該当し、引火性かつ腐食性のもの)(他に品名が明示されているもの)
			UN3078 セリウム(削りくず又は砂状のもの)
			UN3129 その他の水反応可燃性物質(液体)(腐食性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3130 その他の水反応可燃性物質(液体)(毒性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3131 その他の水反応可燃性物質(固体)(腐食性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3132 その他の水反応可燃性物質(固体)(可燃性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
			UN3133 その他の水反応性可燃性物質(固体)(酸化性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3134 その他の水反応可燃性物質(固体)(毒性のもの)
			UN3135 その他の水反応可燃性物質(固体)(自己発熱性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が認めるものに限る。)
			UN3148 その他の水反応可燃性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
			UN3170 アルミニウム精錬又はアルミニウム再溶解工程から生じた副生成物
			UN3208 金属性物質(水反応性)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3209 金属性物質(自己発熱性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3292 電池(ナトリウムを内蔵する組電池又は単電池であって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3395 有機金属化合物(固体)(水反応性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3396 有機金属化合物(固体)(水反応性かつ可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3397 有機金属化合物(固体)(水反応性かつ自己発熱性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3398 有機金属化合物(液体)(水反応性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3399 有機金属化合物(液体)(水反応性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3401 アルカリ金属アルガム(固体)
			UN3402 アルカリ土類金属アルガム(固体)
			UN3403 カリウム合金(固体)
			UN3404 カリウムナトリウム合金(固体)
			UN3476 燃料電池カートリッジ又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(水反応性可燃性物質を含むものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
その他の危険物	酸化性物質類	酸化性物質	UN3482 アルカリ金属懸濁物又はアルカリ土類金属懸濁物(引火性のもの)
			UN1438 硝酸アルミニウム
			UN1439 重クロム酸アンモニウム
			UN1442 過塩素酸アンモニウム(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN1444 過硫酸アンモニウム[パーオキシ二硫酸アンモニウム]
			UN1445 塩素酸バリウム(固体)
			UN1446 硝酸バリウム
			UN1447 過塩素酸バリウム(固体)
			UN1448 過マンガン酸バリウム
			UN1449 過酸化バリウム
			UN1450 無機臭素酸塩類(固体)(臭素酸アンモニウムを除く。)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1451 硝酸セシウム
			UN1452 塩素酸カルシウム(固体)
			UN1453 亜塩素酸カルシウム
			UN1454 硝酸カルシウム(備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。)
			UN1455 過塩素酸カルシウム
			UN1456 過マンガン酸カルシウム
			UN1457 過酸化カルシウム
			UN1458 塩素酸塩とホウ酸塩の混合物
			UN1459 塩素酸塩と塩化マグネシウムの混合物(固体)
			UN1461 無機塩素酸塩類(固体)(塩素酸アンモニウムを除く。)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1462 無機亜塩素酸塩類(亜塩素酸アンモニウムを除く。)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1463 三酸化クロム(無水物)[無水クロム酸又はクロム酸(固体)]
			UN1465 硝酸ジシム
			UN1466 硝酸第二鉄
			UN1467 硝酸グアニジン
			UN1469 硝酸鉛
			UN1470 過塩素酸鉛(固体)
			UN1471 次亜塩素酸リチウム(乾性のもの)又は次亜塩素酸リチウム混合物
			UN1472 過酸化リチウム
			UN1473 臭素酸マグネシウム
			UN1474 硝酸マグネシウム
			UN1475 過塩素酸マグネシウム
			UN1476 過酸化マグネシウム

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	酸化性物質類	酸化性物質	UN1477 無機硝酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1479 その他の酸化性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
			UN1481 無機過塩素酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1482 無機過マンガン酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1483 無機過酸化物質(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1484 臭素酸カリウム
			UN1485 塩素酸カリウム(固体)
			UN1486 硝酸カリウム
			UN1487 硝酸カリウムと亜硝酸ナトリウムの混合物
			UN1488 亜硝酸カリウム
			UN1489 過塩素酸カリウム
			UN1490 過マンガン酸カリウム
			UN1491 過酸化カリウム
			UN1492 過硫酸カリウム[パーオキシニ硫酸カリウム]
			UN1493 硝酸銀
			UN1494 臭素酸ナトリウム
			UN1495 塩素酸ナトリウム(固体)
			UN1496 亜塩素酸ナトリウム(固体)
			UN1498 硝酸ナトリウム[チリ硝石]
			UN1499 硝酸ナトリウムと硝酸カリウムの混合物
			UN1500 亜硝酸ナトリウム
			UN1502 過塩素酸ナトリウム
			UN1503 過マンガン酸ナトリウム
			UN1504 過酸化ナトリウム
			UN1505 過硫酸ナトリウム[パーオキシニ硫酸ナトリウム]
			UN1506 塩素酸ストロンチウム
			UN1507 硝酸ストロンチウム
			UN1508 過塩素酸ストロンチウム
			UN1509 過酸化ストロンチウム
			UN1511 過酸化水素尿素[過酸化尿素]
			UN1513 塩素酸亜鉛
			UN1514 硝酸亜鉛
			UN1515 過マンガン酸亜鉛
			UN1516 過酸化亜鉛
			UN1745 五フッ化臭素
			UN1746 三フッ化臭素
			UN1748 次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(乾性のもので有効塩素の含有率が39質量%を超えるもの)(有効塩素の含有量が8.8質量%のものに限る。)
			UN1748 次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(乾性のもので有効塩素の含有率が39質量%を超えるもの)(有効塩素の含有量が8.8質量%のものに限る。)であって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN1872 二酸化鉛[過酸化鉛]
			UN1873 過塩素酸(濃度が50質量%を超え72質量%以下のものに限る。)
			UN1942 硝酸アンモニウム(自己発熱性を有しないものとして船積地を管轄する地方運輸局長が適当と認めるものに限る。)(可燃物(炭素として計算される有機物を含む。)の含有率が0.2質量%以下のものであって、他の添加物を含まないもの)
			UN2014 過酸化水素(水溶液)(必要に応じて安定剤を加えたもので、濃度が20質量%以上60質量%以下のものに限る。)
			UN2015 過酸化水素(水溶液)(安定剤入りのもので、濃度が60質量%を超えるものに限る。)
			UN2067 硝酸アンモニウム系肥料(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN2208 次亜塩素酸カルシウム混合物(乾性のもので有効塩素の含有率が10質量%を超え39質量%以下のものに限る。)(普通さらし粉)
			UN2426 硝酸アンモニウム(高温高濃度の水溶液)
			UN2427 塩素酸カリウム(水溶液)
			UN2428 塩素酸ナトリウム(水溶液)
			UN2429 塩素酸カルシウム(水溶液)
			UN2464 硝酸ペリリウム
			UN2465 ジクロロイソシアヌル酸(乾性のもの)又はジクロロイソシアヌル酸塩類(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム(二水和物)を除く。)[ジクロロ-S-トリアジン-2,4,6-トリオン]
			UN2466 超酸化カリウム
			UN2468 トリクロロイソシアヌル酸(乾性のもの)[1,3,5-トリクロロ-S-トリアジン-2,4,6-トリオン]
			UN2469 臭素酸亜鉛
			UN2495 五フッ化ヨウ素
			UN2547 超酸化ナトリウム
			UN2573 塩素酸タリウム
			UN2626 塩素酸(水溶液)(濃度が10質量%以下のものに限る。)
			UN2627 無機亜硝酸塩類(固体)(他に品名が明示されているもの、亜硝酸アンモニウム及び無機亜硝酸塩類とアンモニア化合物の混合物を除く。)
			UN2719 臭素酸バリウム
			UN2720 硝酸クロム
			UN2721 塩素酸銅
			UN2722 硝酸リチウム
			UN2723 塩素酸マグネシウム
			UN2724 硝酸マンガン
			UN2725 硝酸ニッケル
			UN2726 亜硝酸ニッケル
			UN2728 硝酸ジルコニウム
			UN2741 次亜塩素酸バリウム(有効塩素の含有率が22質量%を超えるもの)
			UN2880 次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(水和物で水の含有率が5.5質量%以上16質量%以下のものに限る。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。)
			UN2880 次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(水和物で水の含有率が5.5質量%以上16質量%以下のものに限る。)
			UN2984 過酸化水素(水溶液)(濃度が8質量%以上20質量%未満のものであって、必要に応じ安定剤を含むもの)
			UN3085 その他の酸化性物質(固体)(腐食性のもの)
			UN3087 その他の酸化性物質(固体)(毒性のもの)
			UN3098 その他の酸化性物質(液体)(腐食性のもの)
			UN3099 その他の酸化性物質(液体)(毒性のもの)
			UN3100 その他の酸化性物質(固体)(自己発熱性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
			UN3121 その他の酸化性物質(固体)(水反応可燃性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
			UN3137 その他の酸化性物質(固体)(可燃性のもの)(船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
			UN3139 その他の酸化性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
			UN3149 過酸化水素と過酢酸の混合物(安定剤入りのもの)(酸、水及び5質量%以下の過酢酸を含有するものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	酸化性物質類 酸化性物質	UN3210	無機塩素酸塩類(水溶液)(塩素酸アンモニウムを含有するもの及び他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3211	無機過塩素酸塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3212	無機次亜塩素酸塩類(アンモニウム化合物、他に品名が明示されているもの及び備考の欄の規定により危険物に該当しないものを除く。)
		UN3213	無機臭素酸塩類(水溶液)(臭素酸アンモニウム及び他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3214	無機過マンガン酸塩類(水溶液)(過マンガン酸アンモニウムを含有するもの及び他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3215	無機過硫酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3216	無機過硫酸塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3218	無機硝酸塩類(水溶液)(備考の欄の規定により当該危険物に該当しないもの及び他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3219	無機亜硝酸塩類(水溶液)(アンモニア化合物を含有するものを除く。)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3247	過ホウ酸ナトリウム(無水物)
		UN3356	酸素発生器(化学反応によるもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
		UN3375	硝酸アンモニウムエマルジョン、サスペンション又はゲル(燐業中間体)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものであって、船積地を管轄する地方運輸局長が承認したものに限る。)
		UN3377	過ホウ酸ナトリウム(水和物)
		UN3378	過炭酸ナトリウム[パーオキシオ炭酸ナトリウム]
		UN3405	塩素酸バリウム(水溶液)
		UN3406	過塩素酸バリウム(水溶液)
		UN3407	塩素酸塩と塩化マグネシウムの混合物(溶液)
		UN3408	過塩素酸鉛(溶液)
		UN3485	次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(腐食性のもの)(乾性のもので有効塩素の含有率が39質量%を超えるもの(有効塩素の含有量が8.8質量%のものに限る。))
		UN3486	次亜塩素酸カルシウム混合物(腐食性のもの)(乾性のもので有効塩素の含有率が10質量%を超え39質量%以下のものに限る。)
		UN3487	次亜塩素酸カルシウム又は次亜塩素酸カルシウム混合物(腐食性のもの)(水和物で水の含有率が5.5質量%以上16質量%以下のものに限る。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。)
		UN3544	その他の物品(酸化性物質を含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
	有機過酸化物(爆発物を除く。)	UN3103	有機過酸化物C(液体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3104	有機過酸化物C(固体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3105	有機過酸化物D(液体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3106	有機過酸化物D(固体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3107	有機過酸化物E(液体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3108	有機過酸化物E(固体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3109	有機過酸化物F(液体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3110	有機過酸化物F(固体)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3113	有機過酸化物C(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3114	有機過酸化物C(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3115	有機過酸化物D(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3116	有機過酸化物D(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3117	有機過酸化物E(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3118	有機過酸化物E(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3119	有機過酸化物F(液体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3120	有機過酸化物F(固体)(温度管理が必要なもの)(備考1(3)の表に掲げられたもの)
		UN3545	その他の物品(有機過酸化物質を含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
その他の危険物	毒物類 毒物	MS7508	硫化ナトリウム水溶液(濃度が15質量%以下のものに限る。)
		MS7609	重クロム酸ナトリウム水溶液(濃度が70質量%以下のものに限る。)
		MS7611	ペータフロピオラクトン
		MS7612	クレゾールナトリウム塩水溶液
		MS7613	クレゾール(フェノールを含まないものに限る。)
		MS7614	ラクトニトリル水溶液(濃度が80質量%以下のものに限る。)
		MS7615	メチルシクロペンタジエンルマンガントリカルボニル
		MS7616	エトキシ化タローアミン(濃度が95 質量%を超えるものに限る。)
		MS7617	ジシクロペンタジエン及びその二量体の混合物(ジシクロペンタジエンの濃度が81質量%から89質量%までのものに限る。)
		MS7618	1-フェニルエタノール及びアセトフェンの混合物(アセトフェンの濃度が15質量%以下のものに限る。)
		MS7619	2-メチルグルタロニトリル及び2-エチルプタンジニトリルの混合物(2-エチルプタンジニトリルの濃度が12 質量%以下のものに限る。)
		MS7620	アルキルトルエンシルボン酸(アルキル基の炭素数が18から28までのもの及びその混合物に限る。)
		MS7621	クレゾール、フェノール及びキシレノールの混合物
		MS7622	2,6-ジアミノヘキサン酸塩水溶液
		MS7623	石炭酸油
		MS7624	2,4-ジクロロフェノール
		MS7625	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸ジメチルアミン塩水溶液(濃度が70質量%以下のものに限る。)
		MS7626	ジフェニルメタンジイソシアナート
		MS7627	長鎖(炭素数が16以上のもの及びその混合物に限る。)[アルコキシアルキルアミンのエトキシ化物]
		MS7628	フルフラール
		MS7629	グルタルアルデヒド水溶液(濃度が50質量%以下のものに限る。)
		MS7630	ヘキサヒドロ-1,3,5-トリメチル-1,3,5-トリアジン水溶液
		MS7631	ヘキサヒドロ-1,3,5-トリメチル-1,3,5-トリアジン水溶液(濃度が45質量%以下のものに限る。)
		UN1051	シアン化水素(安定剤入りのもの)(水分の含有率が3質量%未満のものに限る。)[青酸]
		UN1092	アクロレイン(安定剤入りのもの)[アクリルアルデヒド][プロペナール]
		UN1098	アリルアルコール[プロペニルアルコール]
		UN1135	エチレンクロロヒドリン[2-クロロエタノール]
		UN1143	クロトンアルデヒド又はクロトンアルデヒド(安定剤入りのもの)(備考欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)[2-ブテナール][3-メチルアクロレイン]
		UN1163	ジメチルヒドラジン(非対称型のもの)[1,1-ジメチルヒドラジン]
		UN1181	クロロ酢酸エチル
		UN1182	クロロギ酸エチル[クロロ炭酸エチル]
		UN1185	エチレンイミン(安定剤入りのもの)[アジリジン][ジメチレンイミン]
		UN1199	フルアルデヒド類
		UN1238	クロロギ酸メチル[クロロ炭酸メチル]
		UN1239	メチルクロロメチルエーテル
		UN1244	メチルヒドラジン
		UN1251	メチルビニルケトン(安定剤入りのもの)[3-ブテン-2-オン]
		UN1259	ニッケルカルボニル[テトラカルボニルニッケル]
		UN1510	テトラントロメタン
		UN1541	アセトシアンヒドリン(安定剤入りのもの)
		UN1544	アルカロイド類又はアルカロイド塩類(固体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)
		UN1545	イソチオシアン酸アリル(安定剤入りのもの)[アリルマスタードオイル]
		UN1547	アニリン[アミノベンゼン][アニリン油][フェニルアミン]
		UN1553	ヒ酸(液体)
		UN1556	無機ヒ素化合物(液体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)
		UN1557	無機ヒ素化合物(固体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)
		UN1560	三塩化ヒ素[塩化ヒ素]
		UN1564	バリウム化合物(他に品名が明示されているもの及び硫酸バリウムを除く。)
		UN1565	シアン化バリウム
		UN3560	水酸化テトラメチルアンモニウム(水溶液)(濃度が25質量%以上のものに限る。)

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	毒物類	毒物	UN1569 臭化アセトン
			UN1570 ブルシン(殺虫殺菌剤類を除く。)[ジメトキシストリキニーネ]
			UN1575 シアン化カルシウム
			UN1577 クロロジニトロベンゼン(液体)
			UN1580 クロロビクリン[ニトロトリクロロメタン]
			UN1583 クロロビクリン混合物(殺虫殺菌剤類を除く。)(他に品名が明示されているものを除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN1588 無機シアン化物(固体)(他に品名が明示されているもの並びにフェリシアン化物及びフェロシアン化物を除く。)
			UN1590 ジクロロアニリン(液体)
			UN1594 硫酸ジエチル[硫酸エチル]
			UN1595 硫酸ジメチル[硫酸メチル]
			UN1596 ジニトロアニリン
			UN1597 ジニトロベンゼン(液体)
			UN1599 ジニトロフェノール(溶液)
			UN1600 ジニトロトルエン(溶解状のもの)[メチルジニトロベンゼン]
			UN1601 消毒剤(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1602 染料又は染料中間物(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1603 プロモ酢酸エチル
			UN1605 1,2-ジプロモエタン[二臭化エチレン]
			UN1611 四リン酸ヘキサエチル[四リン酸エチル]
			UN1613 シアン化水素酸(水溶液)(濃度が20質量%以下のものに限る。)[青酸]
			UN1614 シアン化水素(安定剤入りのものであって、多孔性の不活性物質に吸収させてあるもの)(水分の含有率が3質量%未満のものに限る。)[青酸]
			UN1625 硝酸第二水銀
			UN1626 シアン化第二水銀カリウム[シアン化水銀カリウム]
			UN1627 硝酸第一水銀
			UN1640 オレイン酸第二水銀(固体を除く。)
			UN1642 オキシシアン化第二水銀(減感剤入りのもの)
			UN1647 臭化メチルと1,2-ジプロモエタンの混合物(液体)
			UN1649 自動車燃料用アンチノック剤[四エチル鉛][四メチル鉛]
			UN1654 ニコチン
			UN1655 ニコチン化合物又はニコチン製剤(固体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)
			UN1656 ニコチン硫酸塩(液体又は溶液)(殺虫殺菌剤類を除く。)[硫酸ニコチン]
			UN1658 ニコチン硫酸塩(水溶液)[硫酸ニコチン]
			UN1662 ニトロベンゼン
			UN1664 ニトロトルエン(液体)
			UN1665 ニトロキシレン(液体)[2-ニトロ-3-キシレン][3-ニトロ-2-キシレン][4-ニトロ-3-キシレン]
			UN1669 ペンタクロロエタン[ペンタリン]
			UN1670 トリクロロメタンスルフェニルクロライド[パークロメチルメルカプタン][チオカルボニルテトラクロライド][トリクロロメチルスルホクロライド][トリクロロメタンスルフルクロライド]
			UN1672 塩化フェニルカルビラミン[フェニルイミノホスゲン又はフェニルイソシアノジクロライド]
			UN1680 シアン化カリウム(固体)
			UN1686 亜ヒ酸ナトリウム(水溶液)(殺虫殺菌剤類を除く。)
			UN1687 アジ化ナトリウム
			UN1689 シアン化ナトリウム(固体)
			UN1692 ストリキニーネ又はストリキニーネ塩類(殺虫殺菌剤類を除く。)
			UN1693 催涙ガス物質(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1694 オルトシアン化プロモベンジル(液体)
			UN1695 クロロアセトン(安定剤入りのもの)[モノクロロアセトン]
			UN1698 ジフェニルアミンクロロアルシン[塩化フェナルサジン]
			UN1699 ジフェニルクロロアルシン(液体)
			UN1700 催涙ガス筒(火薬類を含有しないもの)[催涙ガステキ弾]
			UN1701 臭化キシリル
			UN1702 テトラクロロエタン[1,1,2,2-テトラクロロエタン][四塩化アセチレン]
			UN1704 ジチオピロリン酸テトラエチル(殺虫殺菌剤類を除く。)
			UN1708 トルイジン(液体)
			UN1711 キシリジン(液体)[2,4-アミノジメチルベンゼン][2,4-ジメチルアニリン]
			UN1713 シアン化亜鉛
			UN1722 クロロギ酸アリル[アリルクロロカーボネート]
			UN1737 臭化ベンジル[アルファプロモトルエン]
			UN1738 塩化ベンジル
			UN1750 クロロ酢酸(水溶液)
			UN1752 クロロアセチルクロライド
			UN1809 三塩化リン[塩化リン]
			UN1810 塩化ホスホリル[オキシ塩化リン]
			UN1834 塩化スルフルリル[塩化スルホニル]
			UN1838 四塩化チタン[塩化チタン]
			UN1846 四塩化炭素(ゼラチンのカプセルに入れたものをガラス容器に収納し、木箱で外装したものを除く。)[テトラクロロメタン]
			UN1851 医薬品(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1886 塩化ベンジリデン[塩化ベンザル][二塩化ベンジル]
			UN1889 シアン化臭素[臭化シアノゲン][プロモシアン]
			UN1892 エチルジクロロアルシン
			UN1916 2,2'-ジクロロジエチルエーテル[ジ(2-クロロエチル)エーテル]
			UN1935 シアン化物(溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN1994 鉄カルボニル[ベンタカルボニル鉄]
			UN2016 毒ガス弾(有毒な物質を含有し非爆発性のものであって、さく薬、発射薬及び信管がついていないもの)
			UN2017 催涙弾(催涙性物質を含有し非爆発性のものであって、さく薬、発射薬及び信管がついていないもの)
			UN2019 クロロアニリン(液体)[オルトクロロアニリン(2-クロロアニリン)又はメタクロロアニリン(3-クロロアニリン)]
			UN2022 クレゾール酸
			UN2023 エピクロロヒドリン[1-クロロ-2,3-エポキシプロパン]
			UN2024 水銀化合物(液体)(他に品名が明示されているもの、殺虫殺菌剤類、塩化第一水銀及び辰砂を除く。)
			UN2025 水銀化合物(固体)(他に品名が明示されているもの、殺虫殺菌剤類、塩化第一水銀及び辰砂を除く。)
			UN2026 フェニル第二水銀化合物(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)
			UN2038 ジニトロトルエン(液体)[メチルジニトロベンゼン]
			UN2075 クロラール(無水物)(安定剤入りのもの)[トリクロロアセトアルデヒド]
			UN2076 クレゾール(液体)
			UN2078 トルエンジイソシアネート[トリレンジイソシアネート]
			UN2206 イソシアネート類又はその溶液(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2224 ベンゾニトリル[シアン化フェニル]
			UN2232 2-クロロエタナール[クロロアセトアルデヒド]
			UN2236 3-クロロ-4-メチルフェニルイソシアネート(液体)
			UN2249 ジクロロメチルエーテル(船積地を管轄する地方運輸局長が許可したものに限る。)
			UN2253 N,N-ジメチルアニリン
			UN2267 塩化ジメチルチオホスホリル
			UN2281 ヘキサメチレンジイソシアネート
			UN2285 トリフルオロメチルフェニルイソシアネート[イソシアナトベンゾトリフルオリド]
			UN2295 クロロ酢酸メチル
			UN2306 トリフルオロメチルニトロベンゼン(液体)[ニトロベンゾトリフルオリド]

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	毒物類	毒物	UN2307 2-クロロ-5-トリフルオロメチルニトロベンゼン[3-ニトロ-4-クロロベンゾトリフルオリド]
			UN2312 フェノール(熔融状のもの)[石炭酸]
			UN2316 シアン化銅ナトリウム(固体)[テトラシアノ第一銅ナトリウム]
			UN2317 シアン化銅ナトリウム(水溶液)[テトラシアノ第一銅ナトリウム]
			UN2322 トリクロロブテン[トリクロロブチレン]
			UN2334 アリルアミン[2-ブロベニルアミン又は3-アミノプロベン]
			UN2337 フェニルメルカプタン[チオフェノール又はベンゼンチオール]
			UN2382 1,2-ジメチルヒドラジン
			UN2407 クロロギ酸イソプロピル[クロロメタン酸イソプロピル又はクロロ炭酸イソプロピル]
			UN2438 トリメチルアセチルクロライド[ヒバロイルクロライド]
			UN2471 四酸化オスミウム
			UN2474 チオホスゲン[塩化チオカルボニル]
			UN2477 イソチオシアン酸メチル
			UN2480 イソシアン酸メチル又はその溶液[メチルイソニトリル]
			UN2481 イソシアン酸エチル
			UN2482 イソシアン酸ノルマルプロピル
			UN2483 イソシアン酸イソプロピル
			UN2484 イソシアン酸ターシャリーブチル
			UN2485 イソシアン酸ノルマルブチル
			UN2486 イソシアン酸イソブチル
			UN2487 フェニルイソシアネート[フェニルカルビミド][カルバニル]
			UN2488 イソシアン酸シクロヘキシル
			UN2490 ジ(クロロイソプロピル)エーテル
			UN2501 トリ(1-アジリジニル)ホスフィンオキシサイド(水溶液)(殺虫殺菌剤を除く。)[トリエチレンホスホルアミド]
			UN2521 ジケテン(安定剤入りのもの)[アセチルケテン]
			UN2522 2-ジメチルアミノエチルメタクリレート
			UN2542 トリブチルアミン
			UN2552 ヘキサフルオロアセトン(液体)
			UN2558 エピプロモヒドリン[1-プロモ-2,3-エポキシプロパン]
			UN2570 カドミウム化合物(硫化カドミウムを除く。)
			UN2570 硫化カドミウム
			UN2572 フェニルヒドラジン[ヒドラジノベンゼン](結晶を除く。)
			UN2574 リン酸トリトリル(3質量%を超えるオルト異性体を含むもの)[リン酸トリクレシル]
			UN2588 その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2589 クロロ酢酸ビニル
			UN2605 ヌキシメチルイソシアネート
			UN2606 オルトケイ酸メチル[テトラヌキシシラン]
			UN2611 プロピレンクロロヒドリン[1-クロロ-2-プロパノール]
			UN2628 フルオロ酢酸カリウム
			UN2629 フルオロ酢酸ナトリウム
			UN2630 セレン酸塩又は亜セレン酸塩
			UN2642 フルオロ酢酸
			UN2643 プロモ酢酸メチル
			UN2644 ヨウ化メチル[ヨードメタン]
			UN2646 ヘキサクロロシクロペンタジエン[パークロロシクロペンタジエン]
			UN2648 1,2-ジプロモ-3-ブタノン
			UN2650 1,1-ジクロロ-1-ニトロエタン
			UN2653 ヨウ化ベンジル[アルファヨウ化トルエン](固体を除く。)
			UN2668 クロロアセトニトリル[クロロエタニトリル][シアン化クロロメチル]
			UN2669 クロロクレゾール(液体)[クロロメチルフェノール]
			UN2690 N-ノルマルブチルイミダゾール[N-ノルマルブチルイミナゾール]
			UN2727 硝酸タリウム
			UN2738 N-ノルマルブチルアニリン
			UN2740 クロロギ酸ノルマルプロピル
			UN2742 クロロギ酸エステル類(毒性、腐食性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)[クロロカーボネート類]
			UN2743 クロロギ酸ノルマルブチル
			UN2744 クロロギ酸シクロブチル
			UN2745 クロロギ酸クロロメチル
			UN2746 クロロギ酸フェニル
			UN2748 クロロギ酸-2-エチルヘキシル
			UN2750 1,3-ジクロロ-2-プロパノール[ジクロロイソプロピルアルコール][アルファジクロロヒドリン][アルファプロベニルジクロロヒドリン]
			UN2754 N-エチルトリイジン
			UN2757 カーバメート系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2759 ヒ素系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2761 有機塩素系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2763 トリアジン系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2771 チオカーバメート系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2775 銅殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2777 水銀殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2779 置換ニトロフェノール殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2781 ビピリジリウム系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2783 有機リン系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2786 有機スズ系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2788 有機スズ化合物(液体)(殺虫殺菌剤及び他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2810 その他の毒物(有機物)(液体)(他の危険性を有しないもの)
			UN2811 その他の毒物(有機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)
			UN2821 フェノール(溶液)[石炭酸]
			UN2822 2-クロロピリジン
			UN2839 アルドール[アセトアルドール、3-ヒドロキシブタナール又は3-ヒドロキシブチルアルデヒド]
			UN2872 ジブromクロロプロパン[1,2-ジプロモ-3-クロロプロパン等]
			UN2902 その他の殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2903 その他の殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2927 その他の毒物(有機物)(液体)(腐食性のもの)
			UN2928 その他の毒物(有機物)(固体)(腐食性のもの)
			UN2929 その他の毒物(有機物)(液体)(引火性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限
			UN2930 その他の毒物(有機物)(固体)(可燃性のもの)
			UN2936 2-メルカプトプロピオン酸[チオ乳酸]
			UN2948 3-トリフルオロメチルアニリン[3-アミノベンゾトリフルオリド]
			UN2966 2-メルカプトエタノール[チオグリコール]
			UN2991 カーバメート系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2992 カーバメート系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2993 ヒ素系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2994 ヒ素系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
			UN2995 有機塩素系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	毒物類	毒物	UN2996 有機塩素系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN2997 トリアジン系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN2998 トリアジン系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3005 チオカーバメート系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3006 チオカーバメート系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3009 銅殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3010 銅殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3011 水銀殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)
			UN3012 水銀殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3013 置換ニトロフェノール殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3014 置換ニトロフェノール殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3015 ビリジリウム系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3016 ビリジリウム系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3017 有機リン系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3018 有機リン系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3019 有機スズ系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3020 有機スズ系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3023 2-メチル-2-ヘプタンチオール
			UN3025 クマリン誘導体殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3026 クマリン誘導体殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3027 クマリン誘導体殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3048 リン化アルミニウム系殺虫殺菌剤(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3071 メルカプタン類又はメルカプタン混合物(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3073 ビニルピリジン(安定剤入りのもの)
			UN3079 メタクリロニトリル(安定剤入りのもの)
			UN3080 イソシアネート類又はその溶液(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3086 その他の毒物(固体)(酸性のもの)
			UN3122 その他の毒物(液体)(酸化性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3123 その他の毒物(液体)(水反応可燃性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3124 その他の毒物(固体)(自己発熱性のもの)
			UN3125 その他の毒物(固体)(水反応可燃性のもの)
			UN3140 アルカライド類又はアルカライド塩類(液体)(殺虫殺菌剤を除く。)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3142 消毒剤(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3143 染料又は染料中間物(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3144 ニコチン化合物又はニコチン製剤(液体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤を除く。)
			UN3146 有機スズ化合物(固体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤を除く。)
			UN3172 トキシン類(液体)(生体から抽出されたものに限る。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないもの及び他に品名が明示されているものを除く。)
			UN3246 メタンスルホニルクロライド[塩化メシル]
			UN3250 クロロ酢酸(溶融状態のもの)[モノクロロ酢酸]
			UN3275 ニトリル類(毒性かつ引火性のもの)[有機シアン化物類](他に品名が明示されているものを除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3276 ニトリル類(毒性のもの)(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)[有機シアン化物類]
			UN3277 クロロギ酸エステル類(毒性かつ腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)[クロロカーボ
			UN3278 有機リン化合物(液体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤を除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3279 有機リン化合物(毒性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤を除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3280 有機ヒ素化合物(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3281 金属カルボニル類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3282 有機金属化合物(液体)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3283 セレン化合物(固体)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3284 テルル化合物(固体)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3285 パナジウム化合物(固体)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3287 その他の毒物(無機物)(液体)(他の危険性を有しないもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3288 その他の毒物(無機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)
			UN3289 その他の毒物(無機物)(液体)(腐食性のもの)(備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
			UN3290 その他の毒物(無機物)(固体)(腐食性のもの)
			UN3294 シアン化水素(アルコール溶液)(濃度が45質量%以下のものに限る。)
			UN3302 2-ジメチルアミノエチルアクリレート[2-フロベン酸-ジメチルアミノエチルエステル]
			UN3315 化学品見本(毒性)(化学兵器禁止条約関連のものに限る。)
			UN3345 フェノキシ酢酸誘導体殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3347 フェノキシ酢酸誘導体殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3348 フェノキシ酢酸誘導体殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3349 ビスロイド系殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3351 ビスロイド系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性かつ引火性のもの)(引火点が23℃以上60℃以下のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3352 ビスロイド系殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)
			UN3361 クロロシラン(毒性かつ腐食性のもの)(他に品名が明示されていないものを除く。)
			UN3362 クロロシラン(毒性かつ腐食性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されていないものを除く。)
			UN3381 吸入毒性液体(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)
			UN3382 吸入毒性液体(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)
			UN3383 吸入毒性液体(引火性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)
			UN3384 吸入毒性液体(引火性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)

種類	類別		危険物 コード	品 名	
その他の危険物	毒物類	毒物	UN3385	吸入毒性液体(水反応性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていない)	
			UN3386	吸入毒性液体(水反応性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていない)	
			UN3387	吸入毒性液体(酸性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)	
			UN3388	吸入毒性液体(酸性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていない)	
			UN3389	吸入毒性液体(腐食性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていない)	
			UN3390	吸入毒性液体(腐食性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m3以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていない)	
			UN3409	クロロニトロベンゼン(液体)	
			UN3411	ベータナフチルアミン(溶液)	
			UN3413	シアン化カリウム(水溶液)	
			UN3414	シアン化ナトリウム(水溶液)	
			UN3416	クロロアセトフェン(液体)[フェニルクロロメチルケトン]	
			UN3423	水酸化テトラメチルアンモニウム(固体)	
			UN3424	ジニトロオルトクレゾールアンモニウム塩(溶液)	
			UN3430	キシレノール(液体)[ジメチルフェノール][ヒドロキシジメチルベンゼン]	
			UN3439	ニトリル類(毒性のもの)(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)[有機シアン化物類]	
			UN3440	セレン化合物(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3448	催涙ガス物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3449	メタシアン化プロモベンジル(固体)	
			UN3450	ジフェニルクロロアルシン(固体)	
			UN3462	トキシン類(固体)(生体から抽出されたものに限る。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないもの及び他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3464	有機リン化合物(固体)(他に品名が明示されているもの及び殺虫殺菌剤類を除く。)	
			UN3465	有機ヒ素化合物(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3466	金属カルボニル類(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3467	有機金属化合物(毒性)(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3483	自動車燃料用アンチノック剤(引火性のもの)[四エチル鉛][四メチル鉛]	
			UN3488	吸入毒性液体(引火性かつ腐食性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m'以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)	
			UN3489	吸入毒性液体(引火性かつ腐食性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m'以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)	
			UN3490	吸入毒性液体(水反応性かつ引火性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が200mL/m'以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の500倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)	
			UN3491	吸入毒性液体(水反応性かつ引火性のもの)(吸入毒性試験による半数致死濃度が1000mL/m'以下で、かつ、飽和蒸気濃度が吸入毒性試験による半数致死濃度の10倍以上のものであって、他に品名が明示されていないものに限る。)	
			UN3535	その他の毒物(固体)(引火性のもの)(無機物のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3546	その他の物品(毒物を含むもの)(他に品名が明示されているものを除く。)	
			UN3550	水酸化コハバルト(Ⅱ)粉末P(呼吸域粒子を10%以上含むものに限る。)	
			放射性物質等	第1種	核分裂性物質(核分裂性輸送物に係わるもの)
					核燃料集合体
					使用済核燃料
					二酸化ウラン
					六フッ化ウラン
					その他
				第2種	核分裂性輸送物を除くBM型輸送物、BU型輸送物、A型輸送物、IP-1型輸送物、IP-2型輸送物及びIP-3輸送物に係わるもの並びに輸送物の適用を免除されるもの(表面汚染物に限る。)
					医療用照射線源(Co-60など)
					非破壊検査用線源(Ir-192など)
					表面汚染物
					その他
					その他
				第3種	核分裂性輸送物を除くL型輸送物に係わるもの及び輸送物の適用を免除されるもの(低比放射性物質に限る。)
PCB測定用線源(Ni-63など)					
空の容器					
ウラン鉱石					
トリウム鉱石					
その他					
腐食性物質			MS7501	2,2-ジクロロプロピオン酸	
			MS7502	水素化ほう素ナトリウム及び水酸化ナトリウムの混合水溶液(水素化ほう素ナトリウムの濃度が15質量%以下のものに限る。)	
			MS7504	硫化アンモニウム及び硫化水素ナトリウムの混合水溶液	
			MS7507	硝酸及び硝酸第二鉄の混合水溶液	
			MS7510	アルキルジメチルアミン(アルキル基の炭素数が12以上のもの及びその混合物に限る。)	
			MS7511	N,N-ジメチルデシルアミン	
			MS7512	グリコール酸水溶液(濃度が70質量%以下のものに限る。)	
			MS7513	ノルマルヘプタン酸	
			MS7515	吉草酸	
			MS7516	吉草酸及び2-メチル酪酸の混合物(吉草酸の濃度が64質量%のものに限る。)	
			MS7518	アルキルプロポキシアミンエトキシラート(アルキル基の炭素数が12から16までのもの及びその混合物に限る。)	
			MS7519	塩化アルミニウム及び塩酸の混合水溶液	
			MS7520	水酸化アルミニウム、水酸化ナトリウム及び炭酸ナトリウムの混合水溶液(濃度が40質量%以下のものに限る。)	
			MS7521	トール油のナトリウム塩(粗製のものに限る。)	
			MS7522	アミノエチルエタノールアミン及びアミノエチルジエタノールアミンの混合水溶液	
			MS7523	アミノエチルエタノールアミン	
			MS7524	脂肪酸(炭素数が8から10までのもの及びその混合物に限る。)	
			MS7525	過酸化水素水溶液(濃度が60質量%を超え70質量%以下のものに限る。)	
			MS7526	アクリル酸2-ヒドロキシエチル	
			MS7527	イソプロパノールアミン	
			MS7528	発煙硫酸	
			MS7529	オレイルアミン	
			MS7530	ノルマルプロパノールアミン	
			MS7531	けい酸ナトリウム水溶液	
			MS7532	水酸化コリン溶液	
			MS7533	N・N'-ニメチレンビス(5-メチルオキサゾリジン)	
			MS7534	1-(フェニルメチル)-ピリジニウムアルキル誘導体塩化物(濃度が30質量%以下のものに限る。)並びにノルフェノールエトキシラート(濃度が10質量%以下のものに限る。)のイソプロパノール(濃度が15質量%以下のものに限る。)を溶媒とする溶液及びメタノール溶液(濃度が3質量%以下のものに限る。)の混合溶液	
			MS8207	N-エチルシクロヘキシルアミン	
			MS8410	急速分解バイオ油	
			UN1052	フッ化水素(無水物)	
			UN1604	エチレンジアミン[1,2-ジアミノエタン]	
			UN1715	無水酢酸[酸化アセチル]	
			UN1716	臭化アセチル	

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	腐食性物質	UN1719	力性アルカリ類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN1724	アリルトリクロロシラン(安定剤入りのもの)
		UN1728	ベンチルトリクロロシラン[アミルトリクロロシラン]
		UN1729	塩化アニソール
		UN1730	五塩化アンチモン(液体)
		UN1731	五塩化アンチモン(水溶液)
		UN1732	五フッ化アンチモン
		UN1733	三塩化アンチモン(固体を除く。)
		UN1736	塩化ベンゾイル
		UN1739	クロロギ酸ベンジル[ベンジルクロロカーボネート]
		UN1742	三フッ化ホウ素と酢酸の錯化合物(液体)
		UN1743	三フッ化ホウ素とプロピオン酸の錯化合物(液体)
		UN1744	臭素又はその溶液
		UN1747	ブチルトリクロロシラン
		UN1753	クロロフェニルトリクロロシラン
		UN1754	クロロスルホン酸(三酸化硫黄を含有するものを含む。)
		UN1755	クロム酸(水溶液)
		UN1757	フッ化クロム(水溶液)
		UN1758	塩化クロミル[オキシ塩化クロム]
		UN1759	その他の腐食性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
		UN1760	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
		UN1761	銅エチレンジアミン(水溶液)
		UN1762	シクロヘキセニルトリクロロシラン
		UN1763	シクロヘキシルトリクロロシラン
		UN1764	ジクロロ酢酸
		UN1765	ジクロロアセチルクロライド
		UN1766	ジクロロフェニルトリクロロシラン
		UN1767	ジエチルジクロロシラン
		UN1768	二フッ化リン酸(無水物)
		UN1769	ジフェニルジクロロシラン
		UN1771	ドデシルトリクロロシラン
		UN1774	消火液(腐食性のもの)
		UN1775	テトラフルオロホウ酸[フッ化ホウ素酸又はホウフッ酸]
		UN1776	フルオロリン酸(無水物)[フッ化リン酸]
		UN1777	フルオロスルホン酸[フッ化スルホン酸]
		UN1778	ヘキサフルオロケイ酸[フッ化ケイ素酸][ケイフッ化水素酸][ケイフッ酸]
		UN1779	ギ酸(濃度が85質量%を超えるものに限る。)
		UN1780	塩化フマルル
		UN1781	ヘキサデシルトリクロロシラン
		UN1782	ヘキサフルオロリン酸[六フッ化リン酸]
		UN1783	ヘキサメチレンジアミン(水溶液)[1,6-ヘキサレンジアミン又は1,6-ジアミノヘキサン]
		UN1784	ヘキシルトリクロロシラン
		UN1786	フッ化水素酸と硫酸の混合物(フッ化水素及び硫酸の混合物を70質量%から80質量%まで含有し、かつ、フッ化水素の含有率が25質量%以上のものに限る。)
		UN1787	ヨウ化水素酸[ヨウ酸]
		UN1788	臭化水素酸[臭酸]
		UN1789	塩酸
		UN1790	フッ化水素酸(フッ化水素の濃度が60質量%を超えるものに限る。)[フッ酸]
		UN1790	フッ化水素酸(フッ化水素の濃度が60質量%以下のものに限る。)[フッ酸]
		UN1791	次亜塩素酸塩(水溶液)[さらし液、次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カリウム等]
		UN1794	硫酸鉛(遊離酸の含有率が3質量%を超えるものに限る。)[鉛ドross](固体を除く。)
		UN1796	混酸(硝酸と硫酸の混合物であって、硝酸の含有率が50質量%を超えるものに限る。)
		UN1796	混酸(硝酸と硫酸の混合物であって、硝酸の含有率が50質量%以下のものに限る。)
		UN1798	王水
		UN1799	ノニルトリクロロシラン
		UN1800	オクタデシルトリクロロシラン
		UN1801	オクチルトリクロロシラン
		UN1802	過塩素酸(濃度が50質量%以下のものに限る。)
		UN1803	フェノールスルホン酸(液体)
		UN1804	フェニルトリクロロシラン
		UN1808	三臭化リン
		UN1814	水酸化カリウム(水溶液)[力性カリ]
		UN1816	プロピルトリクロロシラン
		UN1817	塩化ピロスルフル[塩化ジスルフル]
		UN1818	四塩化ケイ素
		UN1819	アルミン酸ナトリウム(水溶液)
		UN1824	水酸化ナトリウム(水溶液)[力性ソーダ]
		UN1826	腐混酸(硝酸の含有率が50質量%を超えるものであって、化学的に安定で、かつ、爆発性の不純物を含まないものに限る。)
		UN1826	腐混酸(硝酸の含有率が50質量%以下のものであって、化学的に安定で、かつ、爆発性の不純物を含まないものに限る。)
		UN1827	塩化第二スズ(無水物)
		UN1828	塩化硫黄類[一塩化硫黄][二塩化硫黄]
		UN1829	三酸化硫黄(安定剤入りのもの又は安定化されたもの)[無水硫酸]
		UN1830	硫酸(濃度が51質量%を超えるもの)
		UN1831	発煙硫酸[二硫酸]
		UN1832	亜硫酸(化学的に安定なもの)
		UN1833	亜硫酸
		UN1835	水酸化テトラメチルアンモニウム(水溶液)(濃度が2.5質量%を超え25質量%未満のもの)
		UN1836	塩化チオニル[オキシ塩化硫黄又は塩化スルフィニル]
		UN1837	塩化チオホスホリル[チオ塩化リン]
		UN1898	ヨウ化アセチル
		UN1903	消毒剤(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN1905	セレン酸
		UN1906	廃酸(石油精製時等に副生する廃硫酸)
		UN1908	亜塩素酸塩類(水溶液)
		UN1938	プロモ酢酸(水溶液)
		UN1940	メルカプト酢酸[チオグリコール酸]
		UN2028	発煙弾(腐食性液体を含有し火薬類を含有しないもの)(点火装置付きでないもの)
		UN2029	ヒドラジン(無水物)
		UN2030	ヒドラジン(水溶液)(濃度が37質量%を超えるものに限る。)
		UN2031	硝酸(濃度が70質量%を超えるものに限る。)(発煙硝酸を除く。)
		UN2031	硝酸(濃度が65質量%以上70質量%以下のものに限る。)
		UN2031	硝酸(濃度が65質量%未満のものに限る。)
		UN2032	発煙硝酸
		UN2051	2-ジメチルアミノエタノール[NN-ジメチルエタノールアミン]
		UN2054	モルホリン[テトラヒドロ-1,4-オキサジン]
		UN2079	ジエチレントリアミン
		UN2214	無水フタル酸(無水マレイン酸の含有率が0.05質量%を超えるものに限る。)(溶融状態のもの)
		UN2215	無水マレイン酸(溶融状態のもの)
		UN2218	アクリル酸(安定剤入りのもの)[プロペン酸]
		UN2226	三塩化ベンジリジン[ベンゾトリクロライド]

種類	類別	危険物 コード	品 名
その他の危険物	腐食性物質	UN2240	クロム硫酸
		UN2248	ジ(ノルマルブチル)アミン
		UN2258	プロピレンジアミン
		UN2259	トリエチレンテトラミン
		UN2262	N,N-ジメチルカルバモイルクロライド
		UN2264	N,N-ジメチルシクロヘキシルアミン
		UN2280	ヘキサメチレンジアミン(溶融状のもの)[1,6-ヘキサンジアミン又は1,6-ジアミノヘキサン]
		UN2308	硫酸水素ニトロシル(液体)
		UN2357	シクロヘキシルアミン[アミノシクロヘキサン]
		UN2401	ヒペリジン[ヘキサヒドロピリジン]
		UN2430	アルキルフェノール類(固体)(アルキル基の炭素数が2から12までのもの)(他に品名が明示されているものを除く。)[ブチルフェノール等]
		UN2434	ジベンジルジクロロシラン
		UN2435	エチルフェニルジクロロシラン
		UN2437	メチルフェニルジクロロシラン
		UN2442	トリクロロアセチルクロライド
		UN2443	三塩化バナジル[オキシ三塩化バナジウム]
		UN2444	四塩化バナジウム
		UN2502	ノルマルバレリルクロライド
		UN2513	プロモアセチルプロマイド
		UN2531	メタクリル酸(安定剤入りのもの)
		UN2564	トリクロロ酢酸(水溶液)
		UN2571	硫酸水素アルキル
		UN2576	オキシ臭化リン(溶融状のもの)
		UN2577	フェニルアセチルクロライド
		UN2584	アルキルスルホン酸又はアリアルスルホン酸(液体)(遊離硫酸の含有率が5質量%を超えるもの)
		UN2604	三フッ化ホウ素とジエチルエーテルの錯化合物
		UN2619	N,N-ジメチルベンジルアミン[ベンジルジメチルアミン]
		UN2670	シアヌル酸クロライド[2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン]
		UN2677	水酸化ルビジウム(水溶液)
		UN2679	水酸化リチウム(水溶液)
		UN2680	水酸化リチウム(固体を除く。)
		UN2681	水酸化セシウム(水溶液)
		UN2683	硫化アンモニウム(水溶液)
		UN2685	N,N-ジエチルエチレンジアミン
		UN2686	2-ジエチルアミノエタノール[ジエチルアミノエタノール][N,N-ジエチルエタノールアミン]
		UN2692	三臭化ホウ素[トリプロモボラン]
		UN2699	トリフルオロ酢酸
		UN2705	1-ペンタール[3-メチル-2-ペンテン-4-イノール]
		UN2734	アミン類又はボリアミン類(液体)(腐食性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN2735	アミン類又はボリアミン類(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN2751	塩化ジエチルチオホスホリル
		UN2789	酢酸(水酢酸又は濃度が80質量%を超える水溶液)
		UN2790	酢酸(水溶液)(濃度が50質量%以上80質量%以下のものに限る。)
		UN2796	硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)
		UN2797	電池液(アルカリ性のもの)
		UN2798	フェニルホスホラスジクロライド[フェニルジクロロホスフィン]
		UN2799	フェニルホスホラスチオジクロライド[フェニルジクロロホスフィンサルファイド]
		UN2801	染料又は染料中間物(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN2817	二フッ化水素アンモニウム(水溶液)[フッ化水素アンモニウム]
		UN2818	ポリ硫化アンモニウム(水溶液)
		UN2826	クロロチオギ酸エチル
		UN2837	硫酸水素塩類(水溶液)
		UN2851	三フッ化ホウ素(二水合物)
		UN2879	塩化セレンニル[オキシ塩化セレン]
		UN2920	その他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)
		UN2921	その他の腐食性物質(固体)(可燃性のもの)
		UN2922	その他の腐食性物質(液体)(毒性のもの)
		UN2923	その他の腐食性物質(固体)(毒性のもの)
		UN2949	硫化水素ナトリウム(結晶水の含有率が25質量%以上のものに限る。)
		UN2986	クロロシラン類(腐食性かつ引火性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN2987	クロロシラン類(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3066	塗料又は塗料関連物質(ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、セラック、ワニス、つや出し液、充てん液、ラッカーベース液、シンナーを含む。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。)
		UN3084	その他の腐食性物質(固体)(酸化性のもの)
		UN3093	その他の腐食性物質(液体)(酸化性のもの)
		UN3094	その他の腐食性物質(液体)(水反応可燃性のもの)
		UN3095	その他の腐食性物質(固体)(自己発熱性のもの)
		UN3096	その他の腐食性物質(固体)(水反応可燃性のもの)
		UN3145	アルキルフェノール類(液体)(アルキル基の炭素数が2から12までのもの)(他に品名が明示されているものを除く。)[ブチルフェノール]
		UN3147	染料又は染料中間物(固体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3259	アミン類又はボリアミン類(固体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
		UN3260	その他の腐食性物質(無機物)(固体)(酸性のもの)
		UN3261	その他の腐食性物質(有機物)(固体)(酸性のもの)
		UN3262	その他の腐食性物質(無機物)(固体)(アルカリ性のもの)
		UN3263	その他の腐食性物質(有機物)(固体)(アルカリ性のもの)
		UN3264	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの)
		UN3265	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(酸性のもの)
		UN3266	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(アルカリ性のもの)
		UN3267	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)
		UN3301	その他の腐食性物質(液体)(自己発熱性のもの)
		UN3320	水素化ホウ素ナトリウムと水酸化ナトリウムの混合物(水素化ホウ素ナトリウムの濃度が12質量%以下のものであって、水酸化ナトリウムの濃度が40質量%以下のものに限る。)
		UN3412	ギ酸(濃度が10質量%以上であって85質量%以下のものに限る。)
		UN3421	フッ化水素カリウム(溶液)
		UN3463	プロピオン酸(濃度が90質量%以上のものに限る。)
		UN3470	塗料又は塗料関連物質(腐食性かつ引火性のもの)(ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、セラック、ワニス、つや出し液、充てん液、ラッカーベース液、シンナーを含む。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。)
		UN3471	フッ化水素化合物(腐食性かつ毒性のもの)(他の品名が明示されているものを除く。)
		UN3477	燃料電池カートリッジ又は装置に組み込まれたもの又は装置と共に包装されたもの(腐食性物質を含むものであって、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)
		UN3484	ヒドラジン(水溶液)(引火性かつ毒性のもの)(濃度が37質量%以上のものに限る。)
		UN3498	一塩化ヨウ素(液体)
		UN3507	六フッ化ウラン(L型輸送物に該当するもの)(輸送物1個当たりの六フッ化ウランの質量が0.1kg未満のもの)(核分裂性輸送物のものを除く。)
その他	その他	MS9001	化学廃液 危規則第二条第一号の二に掲げるもの
		MS9002	その他の液体化学薬品(P混合物を除く。)

LNGバンカー船停泊時の基準等

1 LNGバンカー船停泊時の基準

(1) 立地条件

イ SOLAS フェンス等の既存の物理的障壁の有無や岸壁利用者の立入状況、照明設備・監視装置の設置状況等 LNG バンカー船からの視認性などを勘案し、LNG バンカー船への部外者の接近・侵入を防止するために必要な範囲を、次に掲げるいずれかの方法により、立入禁止区域として岸壁上に設定した上で、立入りを禁ずる旨記載した札等を標示すること。なお、(ロ)・(ハ)による措置は、十分な安全性が確保できる場合に限る。

(イ) SOLAS フェンス等既存の物理的障壁又は仮設フェンス等によること。

(ロ) カラーコーン及びコーンバー等によって LNG バンカー船の船体又は舷梯の周囲を囲むこと。

(ハ) LNG バンカー船の舷梯の入口にロープを張ること。

ロ LNG バンカー船の近傍において、火気使用制限を明示する等十分な注意喚起を行うこと。

ハ 付近の事業所等に事業と立入禁止措置等の安全対策について周知すること。

ニ LNG バンカー船から他の停泊船舶までの距離が 30 メートル以上あり、また、付近航行船舶が 30 メートル以上離れて航行する余地があること。

ただし、付近の停泊船舶及び航行船舶の種類、大きさ、ふくそう状況等により、LNG バンカー船との衝突の危険性が極めて低いと認められる場合は、この限りでない。

ホ その他係留施設の管理者等が指示する事項が遵守されていること。

(2) 照明設備

立入禁止区域への部外者の侵入接近を防止するために照明設備を設置する場合は、照明範囲の平均水平面照度 5 ルクス以上の照度が得られるものであること。

(3) 消防・防災設備等

イ LNG バンカー船の火災等が発生した場合の消火、延焼防止、タンクの冷却等のために必要な消火設備（消火栓の数、ホースの長さ等）が整備されていること。

なお、消火栓が岸壁上に設置されていない場合や、消火栓の数が不足する場合は、可搬消防ポンプにより、海水を吸引して使用しても差し支えない。

ロ 消火栓、消火要具その他危険の除去に必要な要具等は、その所在位置を明確にしておき、使用方法について慣熟しておくこと。

ハ 緊急時の警報あるいは連絡に必要な設備を備えること。

2 LNGバンカー船停泊承認願の申請方法

次のような事項を具した承認願を提出すること。

(1) 記載事項

イ 停泊岸壁の名称及び位置

バース、付近の建物等の関係位置を示す図面を添付すること。

ロ LNGバンカー船の要目

ハ 設備

(イ) 電気、照明設備

(ロ) 消防設備

(ハ) その他の安全防災設備

ニ 停泊安全管理体制

停泊の安全管理に関する組織及び責任者の職名、氏名、受有資格、経験年数、責任分担等について記載すること。

ホ 安全対策

(イ) 停泊管理要領

(ロ) 火気の使用及び立入りの禁止の要領

(ハ) 停泊中の注意事項

- (2) 当該事業者等が、LNGバンカー船の停泊に関し、安全規則、手引書等を作っているときはそれを承認願に添付すること。この場合において、停泊安全管理体制及び安全対策中、重複している事項については、承認願への記載を要しない。

3 LNGバンカー船停泊承認の際の審査基準

(1) 停泊安全管理体制について

LNGバンカー船の停泊中の安全を確認する者が適切に配置されていること。

(2) 停泊管理要領について

イ 停泊時における責任者の配置（場所、人員等）、責任者の行う安全管理業務の具体的な内容（安全確認、報告、安全管理記録、安全点検等）及び当該業務の具体的な執行方法（指示及び安全確認の手段等）が明確に記載されていること。

ロ 安全確認については、具体的な把握、確認方法が定められていること。

ハ 承認願の安全対策その他の注意事項を、船舶乗組員及び岸壁管理者に周知させる措置が講じてあること。

(3) 火気の使用制限等について

LNGバンカー船の近傍において、次のような事項を制限するための注意喚起が行われていること。

イ 喫煙その他火気の使用

ロ マッチ及びライター等の発火器具の携行

ハ 立入禁止区域内への関係者以外の立入り

(4) その他

イ 着舷中のLNGバンカー船から30メートル以内の水面に他船が接近しないよう、LNGバンカー船が着舷中においても30メートル以遠から視認できる標識を設置するとともに、常時周囲の状況を監視する体制が敷かれていること。

ロ 緊急時の警報、施設管理者への連絡、着舷中の船舶、港長及び消防機関等に対する通報に関する方法を定め、関係者に周知させる措置が講じてあること。

ハ 事故の発生を防止するためのマニュアル及び事故発生時における初期対策、避難（着積中の船舶の緊急離脱のための棧橋作業員の手配を含む。）等に関するマニュアルを作成し、関係者に周知させる措置が講じてあること。

荷役計画を協議する際の検討事項

1 荷役計画の概要

- (1) 荷役危険物
- (2) 荷役設備
- (3) 荷役方法
- (4) 荷役業者
 - イ 名 称
 - ロ 当該危険物荷役の経験年数
 - ハ 当該荷役作業者数
- (5) 荷役作業立会者
 - イ 氏 名
 - ロ 職 務
 - ハ 受有資格
 - ニ 経験年数

2 輸送計画の概要

- (1) 海 上
 - イ 入出港日時
 - ロ 輸送経路（主要地点の通過予定日時を含む。）
 - ハ 入出港時の安全対策（曳船、警戒船等の配備等）
- (2) 陸 上
 - イ 搬出入日時
 - ロ 荷送地、荷受地
 - ハ 輸送方法（使用車両の種類・台数並びに車両ごとの積載量等）

3 荷役の安全対策

- (1) 荷役関係者の打合せ、指揮連絡系統の確立
- (2) 作業中止条件の設定
- (3) 作業中の警戒要領（陸上、海上における立入禁止措置等）
- (4) 火気管理要領（火気厳禁措置、特別に配備する消防設備等）
- (5) 放射線管理要領（放射線漏えい防止措置、計測器、防護器材等）（核分裂性物質等の荷役に限る。）

(別紙 4)

コンテナ専用岸壁（C 2 岸壁）の基準

C 2 岸壁として区分しようとするコンテナ専用岸壁は、次の要件を備えたものであること。

- 1 岸壁区分 C 1 の標準に該当し、さらに、関係者以外の立入りが禁止されている区域内にあるバースであること。
- 2 コンテナ化された危険物を専用の荷役設備によってコンテナ専用船に荷役するバースであること。

- 3 次の消防設備を備えていること。

(1) 発泡消防ポンプ	1 式
(当該バース延長に対し、有効なものであること)	
(2) 泡原液	400 リットル
(3) 大型粉末消火器（薬剤量 20 k g 以上）	1 台
(4) 小型粉末消火器（持運び式）	6 本
(5) 乾燥砂	2 キロリットル

- 4 次の用具を備えていること。

(1) ホースマスク又は空気呼吸具	2 セット
(2) アルミ蒸着防火服又はこれと同等以上の防火服	2 セット
(3) ガスマスク（有機用、酸性用吸収缶各 5 個／セット付）	5 セット
(4) 危険物用保護衣	5 セット
(5) ゴム手袋	10 セット
(6) 保護眼鏡	10 セット

- 5 次の消防対策を行っていること。

- (1) 発泡消防ポンプ及び大型粉末消火器は、直ちに使用できる場所に格納庫を設け、その中に格納してあること。
- (2) 小型粉末消火器は、岸壁上の適当な場所の格納箱に保管していること。
- (3) 消防設備配置図が見やすい場所に掲示されていること。
- (4) 防火責任者、危険物の保安に関する責任者が明確であること。
- (5) 自衛消防班が組織されていること。
- (6) 消防署、隣接事業所、港長との間の連絡体制が確立されていること。
- (7) 隣接事業所と相互援助協定が結ばれていること。
- (8) 火気使用の制限又は禁止が徹底されていること。

危険物専用岸壁（D岸壁）の基準等

1 危険物専用岸壁の基準

(1) 立地条件

イ 荷役船舶の船首から船尾に至る間の陸岸が当該危険物又は類似の危険物を取り扱う事業所等の構内であること。

当該危険物又は類似の危険物を取り扱う事業所等以外の事務所等が含まれる場合は、当該事業所等の火気管理状況その他が適当と認められること。

事業所等の構内にない岸壁の場合は、岸壁上を常時又は一時的に占用し、立入りが禁止できること。

ロ 原則として、付近の事業所等の同意が得られること。

ハ 引火性危険物の荷役を行う岸壁の場合は、岸壁上の荷役場所及び荷役船舶から石油類のタンク、ボイラー、裸火を使用する作業場等までの距離が 30 メートル以上であること。

危険物が漏洩した場合に引火するおそれのないような地形又は構造の場合は、上記の距離を 15 メートル程度まで減ずることができる。

ニ タンカーによる引火性危険物の荷役を行う岸壁の場合は、荷役船舶から他の停泊船舶までの距離が 30 メートル以上あり、また、付近航行船舶が 30 メートル以上離れて航行する余地が十分あること。

ただし、荷役船舶の大きさ、付近停泊船舶及び航行船舶の種類、大きさ、ふくそう状況等により、上記の距離を適宜増減することができる。

(2) 電気、照明設備

引火性危険物の荷役を行う岸壁上の照明設備その他の電気設備は、引火の原因とならないものであること。

(3) 消防・防災設備等

イ 荷役船舶又は付近の建物に火災が発生した場合の消火、延焼防止、タンクの冷却、危険物への注水等のために必要な消火設備（消火栓の数、ホースの長さ等）が整備されていること（消防自動車用道路、自家用消防車の有無等も勘案）。

ロ 危険物の種類によっては、化学消火設備を備え、又は危険物が漏洩した場合に危険を除去するに必要な要具、資材等を整備すること。

ハ 消火栓、消火要具その他危険の除去に必要な要具等は、その所在位置を明確にしておき、荷役中は、即時使用可能な状態にしておくこと。

ニ 緊急時の警報あるいは連絡に必要な設備を備えること。

ホ 引火性液体類を取り扱うバースにあつては、危険物の種類にかんがみ、有効な場合には、オイルフェンスの展張及び油吸着材等の使用について必要な措置が講じてあること。

2 危険物専用岸壁承認願の申請方法

次のような事項を具した承認願を提出すること。

(1) 記載事項

イ 荷役岸壁の名称、位置及び構造

バース、付近の建物、石油類のタンク等の関係位置を示す図面を添付すること。

ロ 荷役計画

取扱い危険物の種類、月間輸送計画、1回の最大荷役量、最大荷役船舶の要目、荷役方法、荷役能力、陸上の輸送計画等について記載すること。

ハ 設備

(イ) 電気、照明設備

(ロ) 消防設備

(ハ) 海洋汚染防止設備

(ニ) その他の安全防災設備

ニ 荷役安全管理体制

荷役の安全管理に関する組織及び責任者の職名、氏名、受有資格、経過年数、責任分担等について記載すること。

ホ 安全対策

(イ) 荷役監督要領

(ロ) 火気の使用及び立入りの禁止の要領

(ハ) 荷役中の注意事項

(2) 当該事務所等が、危険物の荷役等に関し、安全規則、手引書等を作っているときはそれを承認願に添付すること。この場合において、荷役安全管理体制及び安全対策中重複している事項については、承認願への記載を要しない。

3 危険物専用岸壁承認の際の審査基準

(1) 荷役安全管理体制について

イ 当該事業所等における荷役の安全に関する業務を統括管理する者（以下「荷役統括管理責任者」という。）、荷役の実施及び安全を管理する者（以下「荷役管理責任者」という。）及び荷役管理責任者の指揮監督のもとに荷役現場において荷役の安全を確認する者（以下「荷役作業責任者」という。）が適正に配置され、適切な荷役安全管理を行い得るよう社内の規則により、各責任者間の関係、荷役の実施及び安全管理に関する責任分担等が明確にされていること。

なお、小規模の事業所等においては、荷役管理責任者が、荷役作業責任者を兼務することができるものとする。

ロ 責任分担には、船舶における荷役安全確認の実施結果の把握、確認及び荷役実施日の現場立会いに関する事項が含まれていること。

ハ 当該事業所等のバースを他の事業者を使用させる場合、荷役作業の全部又は一部を他の事業者に委託する場合等施設の管理運営業務若しくは荷役作業の全部又は一部が当該事業所等以外の者によって行われる場合には、両者の行う当該業務の内容及び安全管理に関する責任分担が明確にされていること。

ニ 当該事業所等の本社等上部機関における安全担当部門の組織、責任者及び職務内容（安全に関する総合調整、企画、教育研修、事業所等に対する指導、助言、安全点検等）が記載されるとともに、荷役安全管理体制の中での位置付けが明確にされていること。

ホ 荷役統括管理責任者は、原則として、荷役の安全に関する業務を統括管理する者とし、その他の責任者は、危険物荷役に関し、適当な知識経験を有する者であること。

（２）荷役監督要領について

イ 荷役作業時（荷役作業前後の準備時等を含む。）における責任者の配置（場所、人員等）、責任者の行う荷役安全管理業務の具体的な内容（安全確認、現場立会い、報告、安全管理記録、安全点検等）及び当該業務の具体的な執行方法（指示及び安全確認の手段等）が明確に記載されていること。

なお、施設の管理運営形態等（第３項（１）ハ参照）、荷役船舶等により荷役作業体制が異なる場合には、その体制ごとに記載されていること。

ロ 安全確認については、荷役作業責任者による船側荷役安全確認実施結果の具体的な把握、確認が、また、現場立会いについては、荷役作業責任者による作業開始時等荷役の安全管理上重要な時点における立会いが、少なくとも定められていること。

ハ 承認願の安全対策その他荷役中の注意事項を、荷役関係者及び船舶乗組員に周知させる措置が講じてあること。

（３）火気の使用及び立入りの禁止の要領について

イ 引火性危険物の荷役を行う場合は、岸壁上の荷役場所及び荷役船舶から 30 メートル以内の陸岸においては、次のような事項を禁止し、必要に応じ境界柵をおき、注意事項を掲示し、警備員を配置する等の措置を講じてあること。

地形その他を勘案の上、危険物が漏洩した場合に引火のおそれがないと認められる場合は、上記の距離を 15 メートル程度まで減ずることができる。

（イ）関係者以外の立入り

（ロ）消防自動車及び荷役危険物を運搬する自動車以外の自動車の立入り

（ハ）マッチ、ライターその他火炎又は火花を発するおそれのある器具の携行

（ニ）喫煙その他火気の使用

ロ 引火性危険物以外の危険物の荷役を行う場合、岸壁上の荷役場所付近に対し、（イ）に準じた措置を講ずること。

ハ 立入禁止区域外においても適正に火気の管理が行われていること。

(4) その他

- イ 着棧中のタンカーから 30 メートル以内の水面に他船が接近しないよう、タンカーが着棧中においても 30 メートル以遠から視認できる標識を設置するか警戒船（員）を配置することとしていること。
- ロ 緊急時の警報、構内の連絡、着棧中の船舶、港長及び消防機関等に対する通報に関する方法を定め、関係者に周知させる措置が講じてあること。
- ハ 事故の発生を防止するためのマニュアル及び事故発生時における初期対策、避難（着棧中の船舶の緊急離脱のための棧橋作業員の手配及び緊急時に本船乗組員が帰船するための構内立入りの許可に関する事項を含む。）等に関するマニュアルを作成し、関係者に周知させる措置が講じてあること。